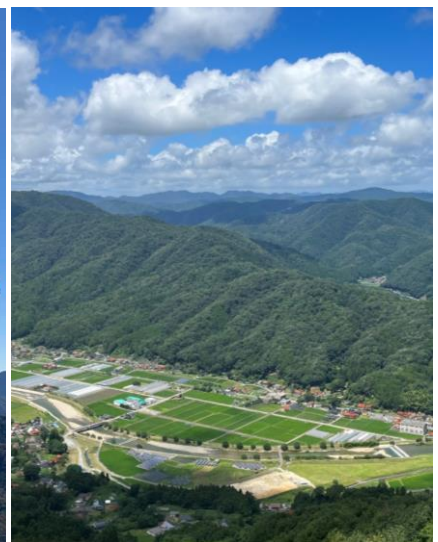


高陽地域・白木地域活性化プラン



2025 年(令和7年)3月

高陽地域・白木地域活性化プラン作成検討ワークショップ

目次

第1章 はじめに.....	1
1. 活性化プランの趣旨.....	1
2. 対象エリア.....	2
3. 検討フロー.....	2
第2章 現状・課題.....	3
1. 地域の現況.....	3
2. 主な地域資源、今後必要な取組.....	6
3. 地域の課題等のまとめ.....	8
第3章 地域の目指すべき姿.....	9
1. 両地域の目指すべき姿.....	9
2. 高陽地域の目指すべき姿.....	10
3. 白木地域の目指すべき姿.....	10
第4章 取組内容.....	11
1. 取組の方向性.....	11
2. 各プロジェクト(取組)について.....	12
第5章 プラン推進に向けて.....	19
1. 各プロジェクトのつながりのイメージ.....	19
2. 全体の令和7年度のロードマップ(統合版).....	20
資料編.....	21

第1章 はじめに

1. 活性化プランの趣旨

安佐北区の高陽地域・白木地域では、平成28年9月にそれぞれの地域で「まちづくり提言書」が作成され、その後、それぞれの視点でまちづくりの取組が行われています。

一方で、「若者の流出」や「高齢化」が進行しており、「地域コミュニティをどのように維持していくか」といった課題があります。

さらに、現在、JR 芸備線に関してのあり方についても議論や検討がされており、それらも課題の1つとして受け止めつつ、将来を見据えた上で、「持続的なまちづくり」を実現するための「地域の取組」などを考えることが大切です。

そこで、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」などを両地域の住民が主体となって話し合うため、ワークショップという手法を通じて、検討を行いました。

これらの検討結果を踏まえて、このたび、『活性化プラン』として取りまとめました。

活性化プランの実行に当たっては、地域団体や関係機関など多様な主体による連携が不可欠となることから、記載している方向性等を広く共有しながら、地域のみんなで一丸となって、継続して取組を行っていきます。

また、取組に関しては、複数のプロジェクトを、ワークショップを通じて検討しましたが、地域が抱えるすべての課題に対して、活性化プランに記載したプロジェクトのみで解決できるものではありません。まずはこのプロジェクトを通じて、身近な地域課題の解決につなげていくことを目標に取り組んでいきます。



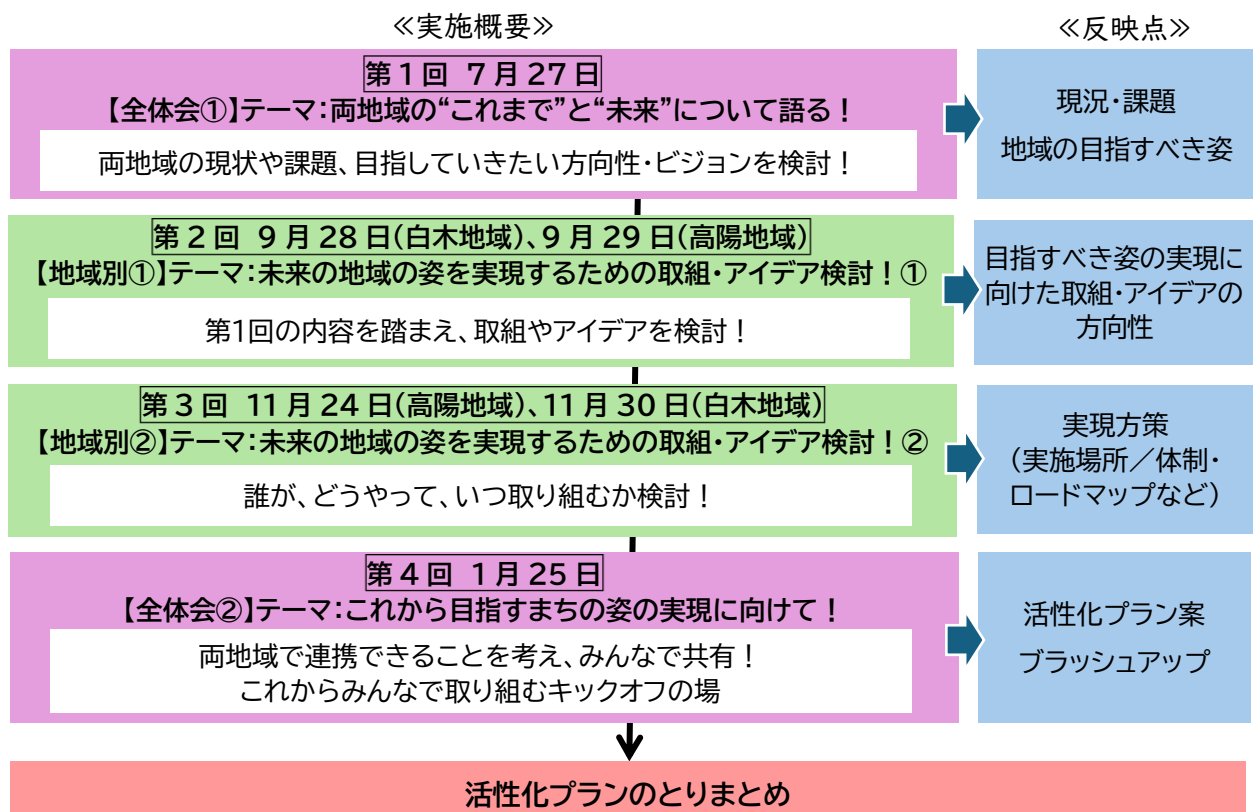
2. 対象エリア

対象エリアは、安佐北区の高陽地域、白木地域とします。



3. 検討フロー

活性化プランの検討に当たっては、地域の誇りや資源などを共有・確認した上で、両地域の目指すべき姿について整理を行いました。これを基に、各地域の目指すべき姿を考え、それらを実現するために地域で取り組みたいことを「プロジェクト」として整理し、「活性化プラン」としてとりまとめを行いました。



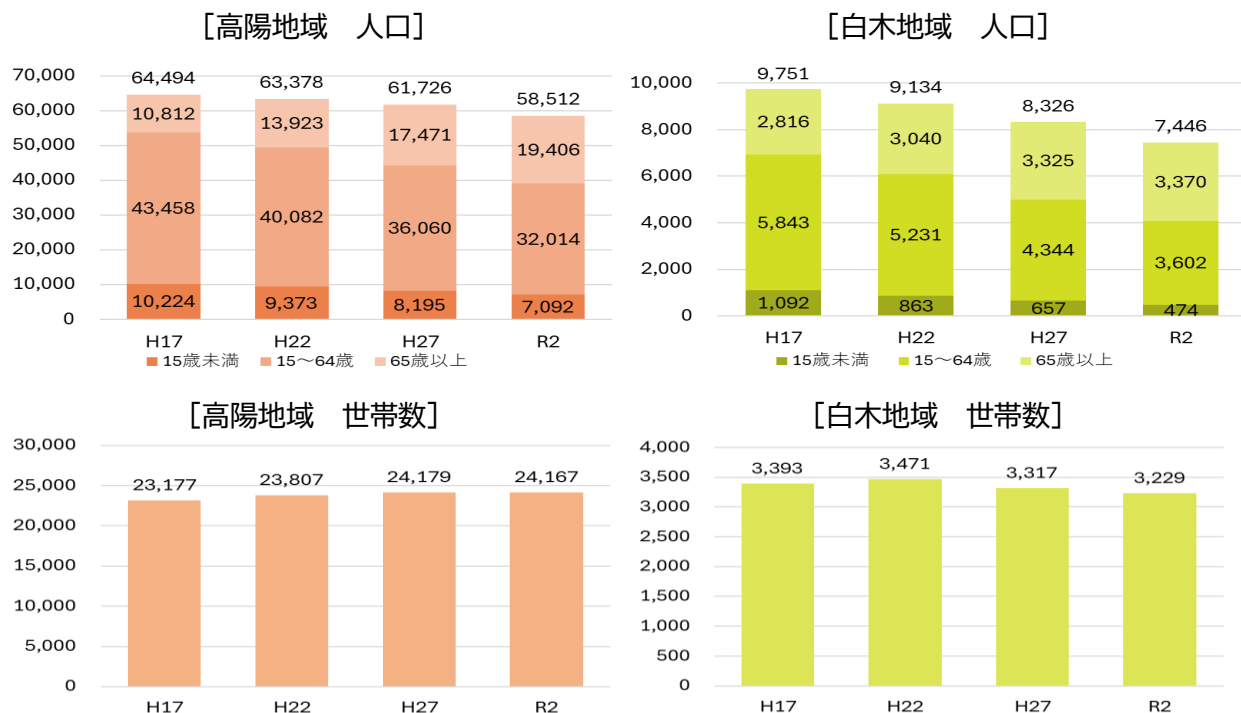
第2章 現状・課題

1. 地域の現況

(1) 人口・世帯数

高陽地域の人口は、58,512人で、平成17年からの15年間で、約6,000人減少しています。65歳以上の人口が著しく増加しています。世帯数は、24,167世帯となっており、横ばい傾向となっています。

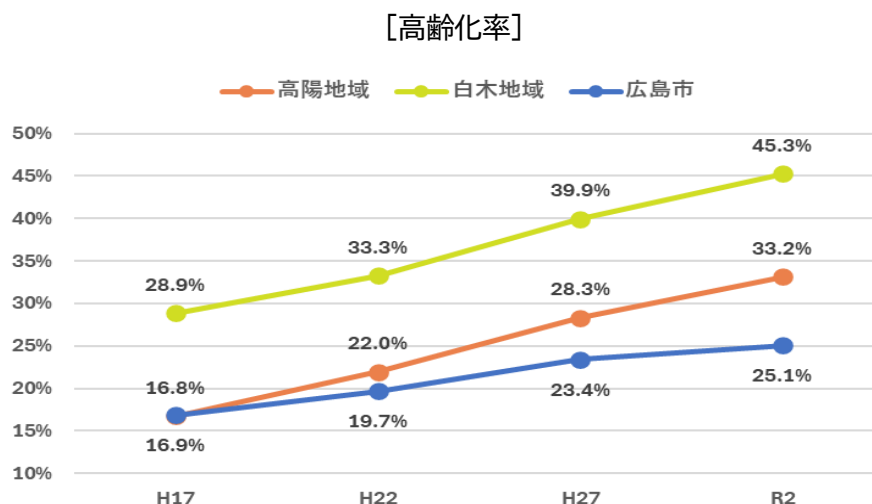
白木地域の人口は、7,446人で、平成17年からの15年間で、約2,300人減少しています。15歳未満の人口が著しく減少し、約500人となっています。世帯数は、3,229世帯となっており、減少傾向となっています。



資料：国勢調査

(2) 高齢化率

高陽地域、白木地域ともに高齢化が進行しており、令和2年では、高陽地域で33.2%、白木地域で45.3%となっています。

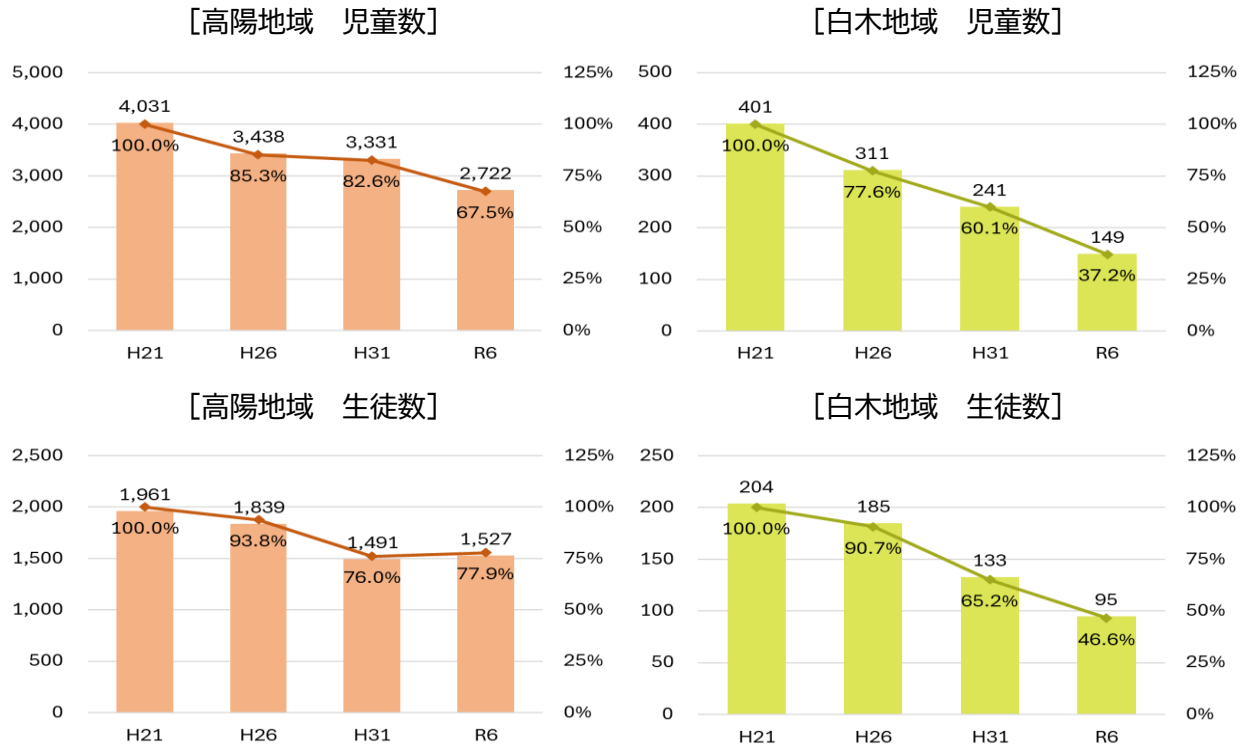


資料：国勢調査

(3) 児童数・生徒数

高陽地域の児童数は、2,722 人で、平成 21 年からの 15 年間で、約 1,300 人減少しています。生徒数は、1,527 人で、平成 21 年からの 15 年間で、約 400 人減少しています。

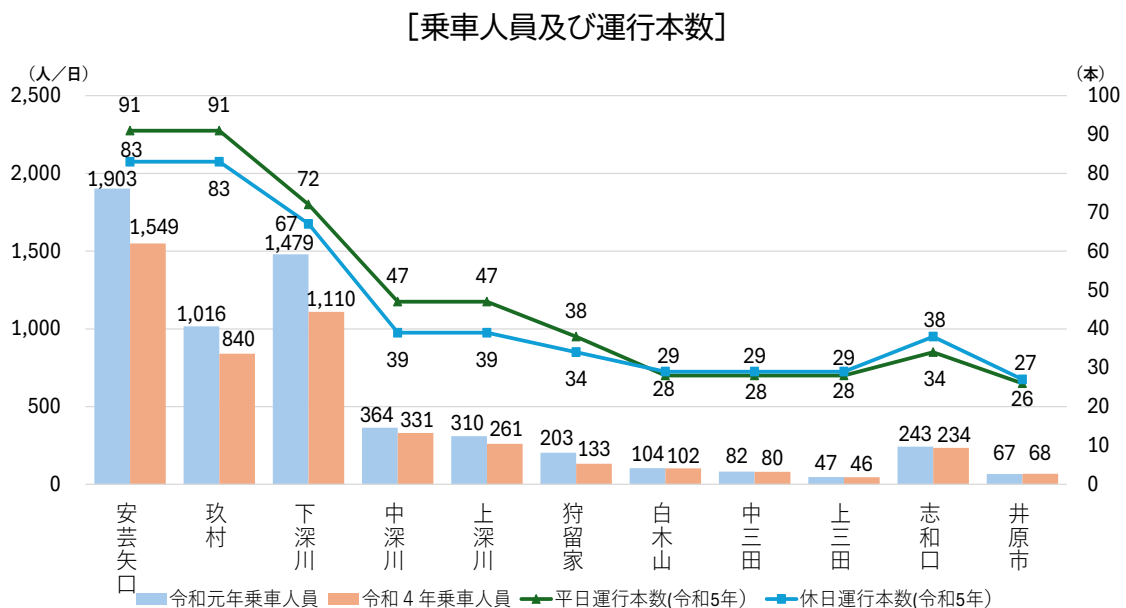
白木地域の児童数は、149 人で、平成 21 年からの 15 年間で、約 250 人減少しています。生徒数は、95 人で、平成 21 年からの 15 年間で、約 100 人減少しています。



(4) JR 芸備線の現況

① 高陽地域・白木地域の JR 駅の乗車人員・運行本数

ほぼ全ての駅において、令和 4 年の乗車人員が、令和元年と比べて減少しています。また、広島駅～下深川駅間の折り返し便が多いため、中深川駅以北では運行本数も少なくなり、乗車人員は下深川駅の 3 分の 1 以下になっています。



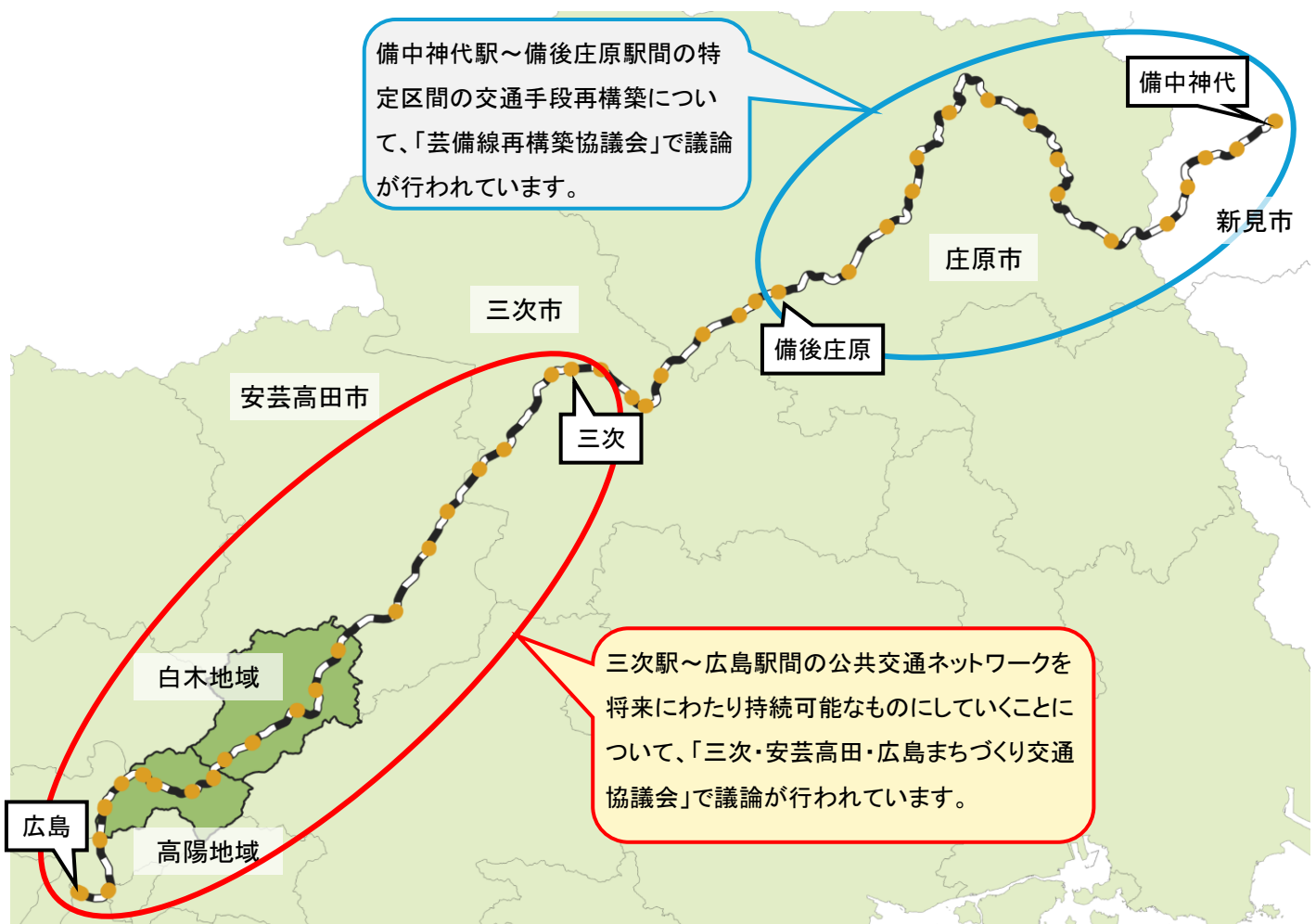
② JR 芸備線を取り巻く状況

JR 西日本では、ローカル線を取り巻く環境の変化とともに利用状況が大きく変化していることから、輸送密度(平均通過人員)2,000 人/日未満の線区について収支率等の情報開示を行っています。令和5年の JR 芸備線三次駅～下深川駅間の輸送密度は998人/日、令和3年～令和5年の3 か年平均収支率は11.7%となっており、非常に厳しい経営状況となっています。

また、JR 芸備線の備中神代駅～備後庄原駅間においては、輸送密度が48 人/日と著しく少ないことから、国(中国運輸局)が令和6年3月に「芸備線再構築協議会」を設置し、国、関係自治体、鉄道事業者等により再構築方針の作成に関する議論が行われています。

一方で、JR 芸備線の沿線市である三次市、安芸高田市、広島市(沿線3市)は、一つの経済体として広域的に連携し、それぞれが主体的なまちづくりに取り組むための抜本的対策の一環として、三次駅～広島駅間の鉄道及び関連諸施設の在り方を含め、JR 芸備線を軸とした公共交通ネットワークを将来にわたり持続可能なものとしていくことについて議論するために、令和6年5月に「三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会」を設置し、沿線市、国、鉄道事業者らで議論が行われています。

このように JR 芸備線を取り巻く状況として、行政を中心にそれぞれの区間の実情などに応じて様々な議論が行われているところですが、高陽地域・白木地域においても、利用促進や活性化については地域の課題として受け止める必要があります。



2. 主な地域資源、今後必要な取組

(1) 地域の誇り・大切にしたいこと

第1回目のワークショップの中で、「地域の誇り・大切にしたいこと」について思うことをグループで出し合い、それぞれの地域の誇りや両地域で共通していることなどを話し合いました。

カテゴリー	主な意見(抜粋)	
	高陽地域	白木地域
自然・歴史 特産品	・太田川河川敷 ・三篠川 ・旧中郡道	・白木山 ・安駄山 ・荒谷山からの景色 ・故郷の自然 ・神ノ倉山 ・ホタル ・雲海 ・伝統の保存
施設・公園	・子供たちが外で遊べる環境 ・他の場所から移住してきた人から魅力的に見える公園や河川敷	・ハンググライダー、パラグライダーのテイクオフポイント ・ハンググライダー(スカイスports)の聖地になっている ・スーパー、もぐベリ、モーモーミルク
祭り・イベント	・秋季例大祭における奉納花火の傘火や吹火 ・伝統・文化・芸能・地域行事の保存と継承	・ホタル祭り ・さくら祭り
人・まち	・篠笛の達人(人的資産) ・人や町内のつながり	・小中学校の人数が少ないので、みんな仲が良い ・人と人との関わりが深く、情報がすぐに入ってくる ・声をかけたら協力してくれる人が多い ・よさこいのチーム
芸備線・交通	・基幹となる交通網	・りょうま記念館 ・ネコ駅長やまと、副駅長ちどり
両地域共通		
自然・歴史・ 特産	・自然・歴史が豊か ・野生動物が多くいる	・里山 ・星空 ・子供神楽(市無形文化財) ・歴史が深い
祭り・イベント	・夏祭り、盆踊り ・学区内のイベント(ふれあい祭り・盆踊り・運動会)	・祭りを後世に残したい ・地域の行事が何年も続いている
人・まち	・みんな知り合い ・共助の気持ち ・人のつながり ・人が優しい ・絆が強い ・機動力	・地区内のコミュニケーション ・学校に通う子ども ・地域の人が大人になっても長く付き合いがある ・人を大切にするまち ・公園、山がありとてもよい ・四季を通して楽しめる
芸備線・交通	・芸備線 ・地区内のコミュニケーション	



(2) 今後必要となる取組について

第 1 回目のワークショップにおいて、これまでの取組を共有しながら、『今後必要となる取組（今後の展開）』について、「住みよさ」「安全・安心」「人が集まる・賑わい・楽しい」「自然」「その他」の 5 項目について、話し合いました。

カテゴリー	主な意見(抜粋)	
	高陽地域	白木地域
住みよさ	・ 高陽ニュータウンの再利用や耕作放棄地対策 ・ 交通の便をもっとよくする ・ 送迎バスなど、坂道の移動の負担軽減	・ 人と人との関わりが多く、知らない人はいない ・ 人々に活気があり、互いに協力し、住むのが楽しい町 ・ 駅までのアクセスをよくする
安全・安心	・ 子どもの見守り ・ 歩道の確保 ・ ひとり暮らしの高齢者を見守る	・ 人と人との交流があるので情報がすぐに入ってくる ・ 空き家対策
人が集まる・賑わい・楽しい	・ 歴史資源活用 ・ 子供も楽しめるイベント、賑わいの創出 ・ 芸備線へのアクセス向上で人が集まる場所の創出 ・ 観光マップを作り、観光客を呼び	・ 小中学生中心に祭りのメインを行う行事がある ・ ネコ駅長りょうまの次代であるやまと、ちどりの 2 匹のネコ活用 ・ いちご・ブルーベリー狩りの広報・広告、観光マップ ・ 集まるイベント、歴史資源の活用
自然	・ 自然との融合を図れるあたたかいまち ・ 河川敷などの自然や野生動物を残す	・ 山登りやハンググライダー等が楽しめるようにする ・ 荒谷山・神ノ倉山へのアクセスをよくし、観光客を呼び ・ 自然や野生動物、ホタル・オオサンショウウオを守る ・ 体験イベント開催
その他	・ 自治会・町内会でイベントを開く ・ 田舎暮らしの良さを宣伝して、若い人に住んでもらう ・ 白木地域への交通手段を増やす	・ 町から出た若者を呼び戻せるような地域にする ・ 住民が自分の住んでいる地域が好きだと他地域の人に自信をもって言える地域にする
両地域共通		
住みよさ	・ みんなで助け合いができる ・ 若者と高齢者のコミュニケーションが取りやすくなればよい	・ 公共交通の充実(タクシー、ループバス等) ・ パーク・アンド・ライド ・ 災害時の道路やルートの確保
安全・安心	・ ひとり暮らしの高齢者を見守る、家の片づけをする ・ 災害に強い地域にする(防災センターの設置、水害対策等) ・ 道路の整備(狭く救急車が入れない道路や事故の多い場所もある)	
人が集まる・賑わい・楽しい	・ 自治会・町内会の行事で地域の特産品を活用 ・ 飲食店やカフェ、駅の中に居酒屋がほしい	・ 盆踊り・お祭りをを行う ・ 祭りを増やす、発信する ・ 親子で安心して遊べる公園
その他	・ 昔からの伝統と新しいことをどちらも平等に大切に	・ 若者主体で発信する ・ SNS を中心に発信していく

3. 地域の課題等のまとめ

第1回目のワークショップにおいて話し合った内容を基に、地域へのヒアリング（地域で活動や生活をしている、キーマンとなり得る方に対し実施）の結果も踏まえながら、課題等のまとめを以下に整理します。

(1) 両地域の課題

住みよさ	● 若者と高齢者のコミュニケーションが取りやすい環境づくり ● 子どもが安心して遊べる場づくり ● 多世代が集まりやすい場づくり ● 芸備線へのアクセス性の向上を始めとした公共交通・道路網の整備・充実
安全・安心	● 高齢者・子どもの見守りによる、安心して暮らせる地域づくり ● みんなで支え合える環境づくり ● 平常時・緊急時含めた道路（通学路含む）の安全性、防災性の強化、バリアフリー化 ● 防災拠点、避難所、避難路等を把握し、地域でお互いを支え、見守り合える環境・体制づくり
人が集まる・賑わい・楽しい	● 地域活動やイベントへの参加者減少が影響し、地域のお祭りや伝統行事等の実施・維持が困難になりつつある地区もあり、地域の活動団体の継続化、取組継承なども課題 ● 今ある地域のつながりや絆を大切にしながら、地域内のコミュニケーションを高めていく（共助の気持ちを育てる） ● 次世代の育成ができていないからこそ、周りをうまく巻き込む
自然	● 自然を生かし、守り、育て、みんなが集まり交流できる（体験できる）機会・場を創出する
その他	● SNSを中心とした情報発信、若者主体による発信 ● 昔からの伝統と新しいことをどちらも平等に大切する ● 両地域で連携できることを検討し、一緒に取り組む
全体に関わる方向性	● まちから出た若者を呼び戻せるような地域にしたい ● 「自分の住んでいる地域が好き」と他地域の人に自信をもって言えるようにしたい ● 今ある地域資源を上手に活用しながら、地域に来たくなる、外に出た人が戻ってきたくするような地域づくりが必要 ● 子どもから高齢者まで安心して暮らすことのできる環境づくりや、人が集まれる（交流できる）場づくりが必要 ● 各世代が互いを尊重しながら、地域がやりたいことについて、達成感やワクワク感をもって様々な人や団体、地域と一緒に協力しながら、取り組むことが必要

(2) 総括

- 両地域共通して、地域内外問わず多世代が集い、交流し、地域の活性化につなげていく「にぎわいづくり」や、今ある地域のつながりやコミュニティを大切にしながら、「互いに支え合える環境づくり」、ソフト・ハード両輪による災害に強い「安全安心なまちづくり」が求められます。また、「まちから出た若者を呼び戻せるような地域」や、「『自分の住んでいる地域が好き』と他地域の人に自信をもって言えるような地域」となること、「両地域による連携」も求められます。
- 地域別では、高陽地域においては、芸備線のアクセス性向上や道路整備といった「住みよさの向上」、多世代が安心して集い、楽しめる環境整備など「多世代にやさしい地域づくり」、地域行事・地域団体等の「活動の継続化や継承」が求められます。
- 白木地域においては、高齢化や人口減少が深刻化しており、その解決が喫緊の課題とされている中で、自然をはじめとした「地域資源の更なる活用・整備」や地域の意識を高め、地域内のつながりを活かした地域づくりが求められます。

第3章 地域の目指すべき姿

第2章で記載した現況や課題等に加えて、第1回目のワークショップでの検討結果から、「両地域の目指すべき姿」を整理しました。また、それらを踏まえて、高陽地域、白木地域それぞれで大事にしたい方向性を検討し、「地域の目指すべき姿」を整理しました。

1. 両地域の目指すべき姿

“地域の良さ”や“つながり”を活かし、 いつまでも安心して暮らせる地域

それぞれの地域資源（ヒト・モノ・コト）や住みよさといった「地域の良さ」や、これまで大切に紡がれてきたコミュニティによる「つながり・支え合える関係性」、伝統やしきたりにとらわれない新たな「つながり」も活かし、活気やにぎわいのある地域を目指します。

また、道路網や基幹交通網等のインフラ（ハード）整備や様々な災害に対応できる環境・体制づくり（ソフト）を通じて、いつまでも安心して暮らし続けられる地域を目指します。

さらに、若い人が帰ってきたくなる、戻ってきたくることや、『自分の住んでいる地域が好き』と他の地域の人に自信をもって言えるような地域を目指します。



《両地域の目指すべき姿に含まれる要素》

【多様な世代がいつまでも安心して暮らせるまちづくり】

- 生まれて最後まで一生を送りたくなるようなまち
- 若者が帰ってきたいと思えるまち
- 高齢者にも住みよいまち
- 親子で安心して遊べるまち など

【人と人のつながりを活かしたにぎわいのあるまちづくり】

- 伝統やしきたりにとらわれない、世代と世代のつながりが強いまち
- 多くの楽しい行事があり、地域内外の人が楽しめるまち
- 人のつながりを大切にするコミュニケーションの場づくり など

【芸備線の駅を拠点にしたまちづくり】

- 駅（駅周辺）に行きたくなる場づくり（飲食店・居酒屋・コンビニ・産直市場・保育園等）
- 駅に行くまでの交通手段の確立
- 住民主体のパーク&ライド
- 駐車場の整備 など

【利便性の高いまちづくり】

- 既存の公共交通の利用促進、道路網の整備 など

【自然を活かしたまちづくり】

- 自然との融合を図れるあたたかいまちづくり（白木山・安駄山・荒谷山・神ノ倉山など）
- 自然を活かした町づくり（スカイスポーツのまちとしてのPRなど）

【安全安心なまちづくり】

- 災害に強いまちづくり

【地域と地域のつながりを活かしたまちづくり】

- 高陽地域と白木地域が連携したまちづくり
・防災、芸備線の利用促進、まちの利便性向上、空き家、教育などの共通課題に対する連携

2. 高陽地域の目指すべき姿

多世代にとって、安心してずっと暮らし続けたい地域

交通機関や道路網等のインフラ（ハード）整備に加えて、様々な災害に対応できる環境整備・体制（ソフト）づくりを行い、安全安心に暮らせる（支え合える）地域を目指します。
また、多世代がずっと暮らし続けたいと思えるような、住みよい地域を目指します。

《高陽地域の目指すべき姿に含まれる要素》

- 住みやすいまち
- 高齢者に住みよいまちづくり
- 交通の整備
- 若者と高齢者のバランス
- 生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域
- 戻ってきたくるような地域
- 安全安心のまちづくり
- 災害に強いまち



3. 白木地域の目指すべき姿

自然とともに、活気あふれる楽しい地域 いつでも戻ってきたくる地域

地域資源の「自然」などを中心として、それらを大切に育みながら、今あるつながりを活かし、互いに協力しながら、活気あふれる楽しい地域を目指します。
また、多世代（特に若い世代）がいつでも帰ってきたくる、戻ってきたくる地域を目指しま

《白木地域の目指すべき姿に含まれる要素》

- 生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域
- 住みやすいまち
- 自然との融合を図れ、人々が互いに協力して活気あふれる、住むのが楽しいまち
- 戻ってきたくるような地域として、地域の活性化を進めていく



第4章 取組内容

1. 取組の方向性

各地域の目指すべき姿を踏まえ、その実現に向けて必要と考える取組の方向性と具体的なプロジェクトについて、ワークショップを通じて検討を行い、整理しました。

(1) 高陽地域のプロジェクト概要

地域の目指すべき姿を踏まえて、3つの取組の方向性（芸備線の活性化、みんなが集まれるイベントを企画する、高陽体育館の建替え）を検討し、計3つのプロジェクトを整理しました。

地域の目指すべき姿	多世代にとって、安心してずっと暮らし続けたい地域	
✓ 取組の方向性	【芸備線の活性化】	
プロジェクト	みんなで使おう芸備線！！ ～もっと便利な芸備線にしよう～ （目標） 芸備線の利便性を向上する（利用促進方法）	
✓ 取組の方向性	【みんなが集まれるイベントを企画する】	
プロジェクト	KoYo BIG Fes （目標） 地域のつながりをつくる、若者を呼ぶ	
✓ 取組の方向性	【高陽体育館の建替え】	
プロジェクト	深川地区の活性化プロジェクト （目標） 建て替えるからこそ「売り」を多くしたい、下深川駅前再開発	

(2) 白木地域のプロジェクト概要

地域の目指すべき姿を踏まえて、4つの取組の方向性（芸備線の活性化・利用促進、自然の有効活用、既にあるものを活かした取組、情報発信）を検討し、計4つのプロジェクトを整理しました。

地域の目指すべき姿	自然とともに、活気あふれる楽しい地域 いつでも戻ってきたくなる地域	
✓ 取組の方向性	【芸備線の活性化・利用促進】	
プロジェクト	鉄道「X(エックス)」 （目標） 来訪者の大幅増加、団体専用の臨時列車の運用、 列車の本数を増やす・増結	
✓ 取組の方向性	【自然の有効活用】	
プロジェクト	白木自然発見 （目標） 山を知ってもらう、山の維持、登山者の増加、 山の利用者の増加	
✓ 取組の方向性	【既にあるものを活かした取組】	
プロジェクト	リにゅーある 里New在 （目標） 夢を語る	
✓ 取組の方向性	【情報発信】	
プロジェクト	#白木町広報課 （目標） 白木町に来てもらう、白木町を知ってもらう	

2. 各プロジェクト（取組）について

（１）高陽地域

① みんなで使おう芸備線！ ～もっと便利な芸備線にしよう～

【方向性・目標】＝ 芸備線の利便性を向上する

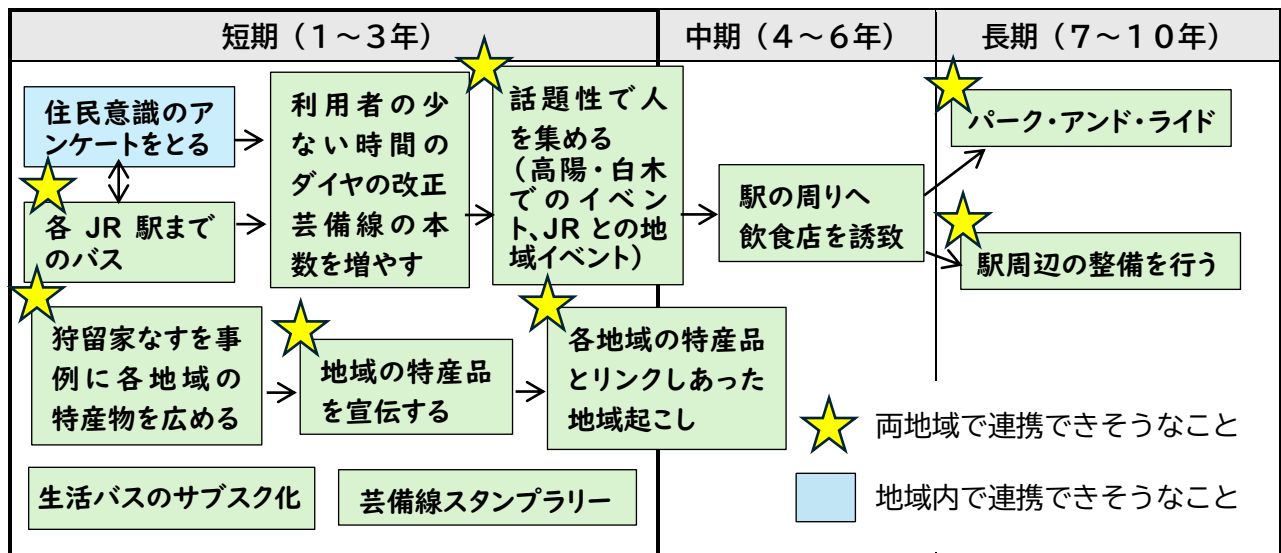
【ターゲット】＝ 地域住民

【取組】

- 住民意識アンケートをとる
- 狩留家なすを事例に各地域の特産物を広める
- 話題性で人を集める（高陽・白木のイベント、JRとのイベント）
- 駅周辺へ飲食店を誘致する
- にぎわいづくりのための駅周辺の整備（憩いの場・駐車場等）⇒駅周辺の活性化⇒地域の活性化

【協力してほしい人】＝ 地方自治体、国、JR西日本、政治家

【スケジュール（ロードマップ）】



【2025年度（令和 7 年度）のロードマップ】

	2025年										2026年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
▶ 芸備線の活性化	芸備線利用に関するアンケートをとる					ネコの写真展 雲海列車							
▶ 各種イベントのPR	芸備線110周年記念イベント			ホテル祭り 向原駅折り返し列車運行			農業祭(高陽・白木)						
	両地域の特産品 PR			収穫体験 PR(狩留家なす)			ブルーベリー収穫体験						
				狩留家なす収穫体験(列車利用)			いちご収穫体験(三田)						

■ プロジェクトチームが中心となって実施したいこと

■ プロジェクトチーム同士が連携して実施したいこと

② KoYo BIG Fes

【方向性・目標】＝地域のつながりをつくる、若者を呼ぶ

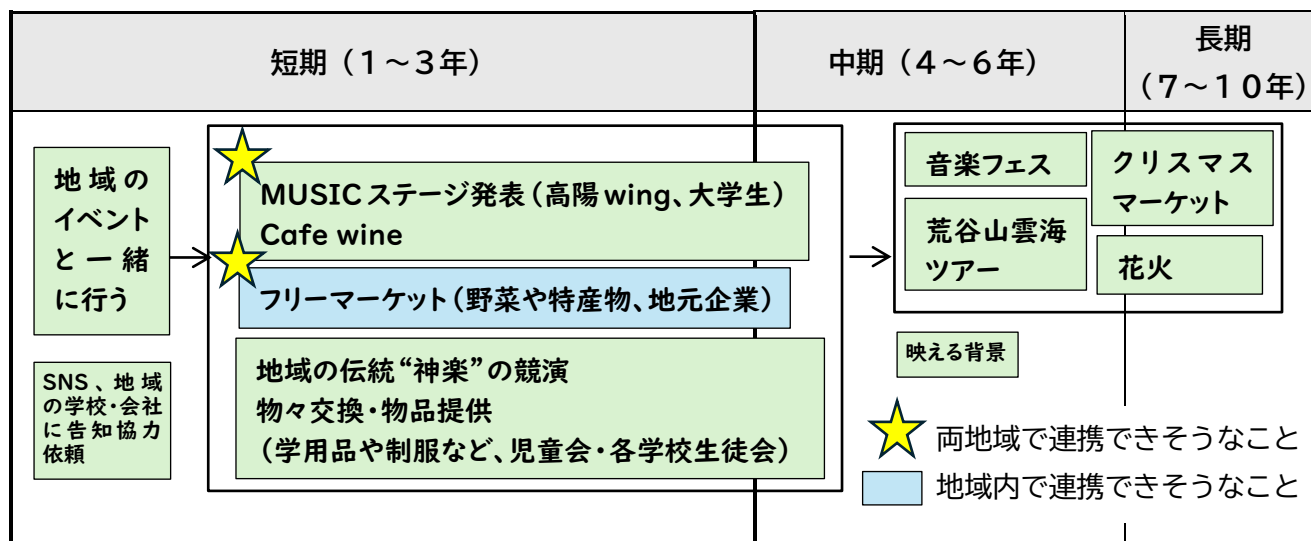
【ターゲット】＝全世代、老若男女、近隣、他地域から

【取組】

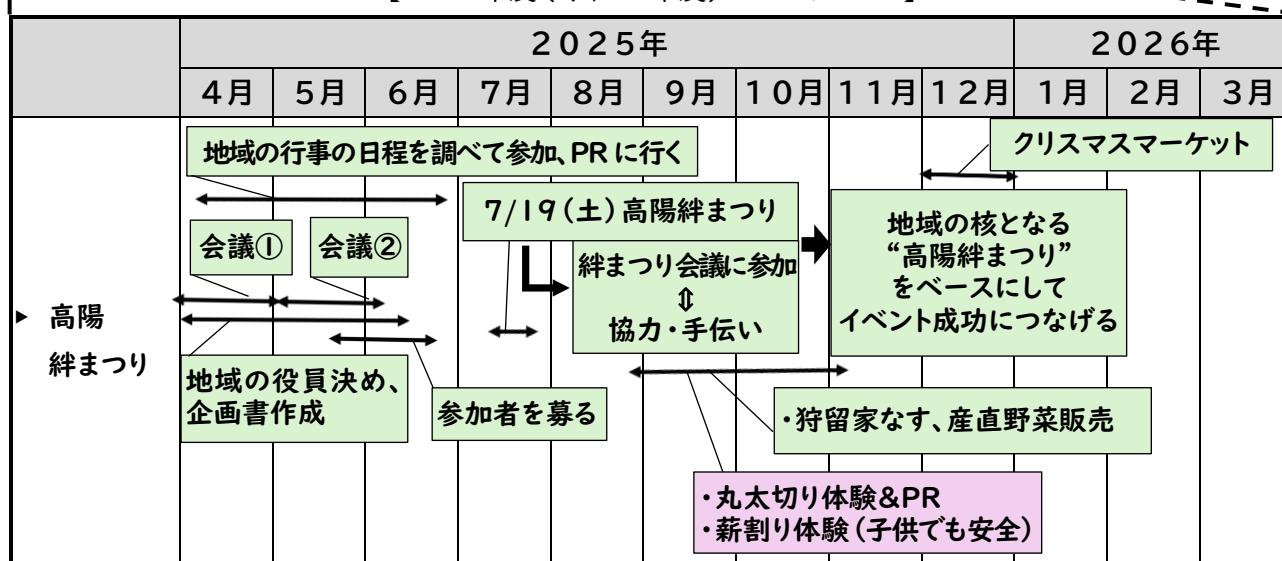
- 地域のイベントと一緒にを行う
- イベントの告知を学校や地域の会社に協力してもらう
- 神楽の依頼
- フリーマーケット
- 音楽フェス、クリスマスマーケットをする
- 荒谷山雲海ツアー

【協力してほしい人】＝著名人

【スケジュール(ロードマップ)】



【2025年度(令和7年度)のロードマップ】



■ プロジェクトチームが中心となって実施したいこと

■ プロジェクトチーム同士が連携して実施したいこと

③ 深川地区の活性化プロジェクト

【方向性・目標】＝ 建て替えるからこそ「売り」を多くしたい、下深川駅前再開発

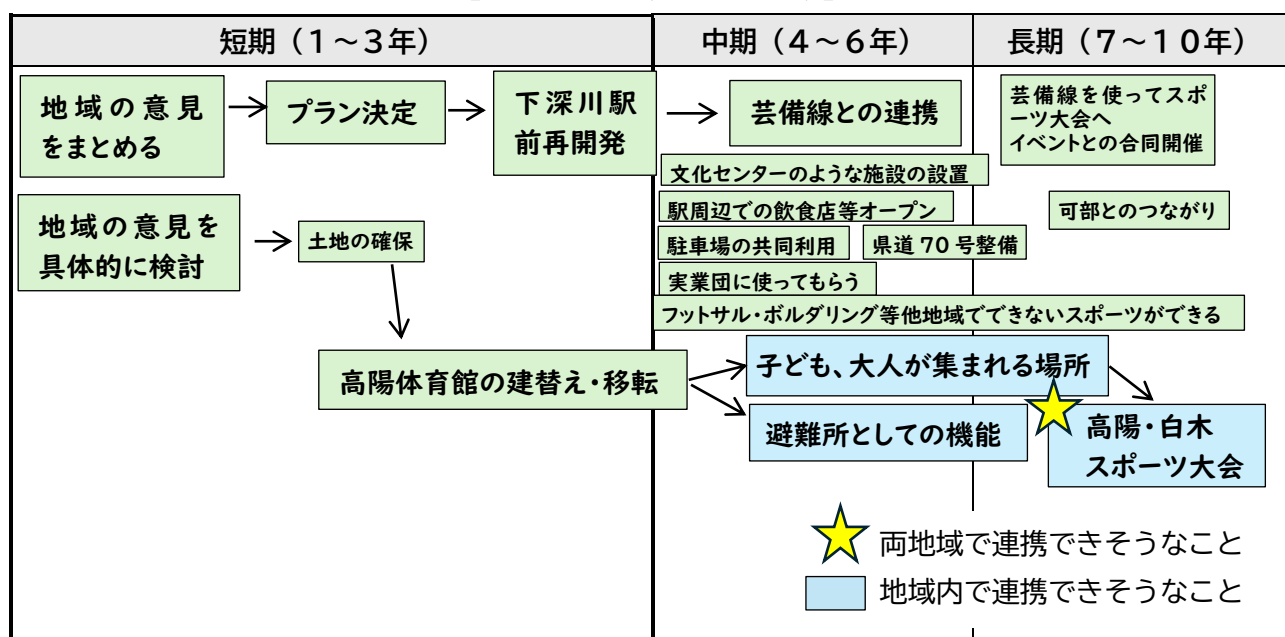
【ターゲット】＝ 高陽・白木地域、芸備線沿線地域

【取組】

- 地域の意見をまとめる
- 地域の意見を具体的に検討
- 芸備線との連携
- 避難所としての機能
- 高陽・白木スポーツ大会

【協力してほしい人】＝ 行政

【スケジュール(ロードマップ)】



【2025年度(令和7年度)のロードマップ】

	2025年									2026年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
▶ 下深川駅前再開発	要望書を行政と食協に提出(令和6年度中)											
▶ 高陽体育館移転	プロジェクトチーム立ち上げ・集合		新体育館のプラン提出		令和8年度の基本設計予算の要望							

■ プロジェクトチームが中心となって実施したいこと

■ プロジェクトチーム同士が連携して実施したいこと

(2) 白木地域

① 鉄道「X (エックス)」

【方向性・目標】＝ 来訪者の大幅増加、列車の本数を増やす・増結、団体専用の臨時列車の運用

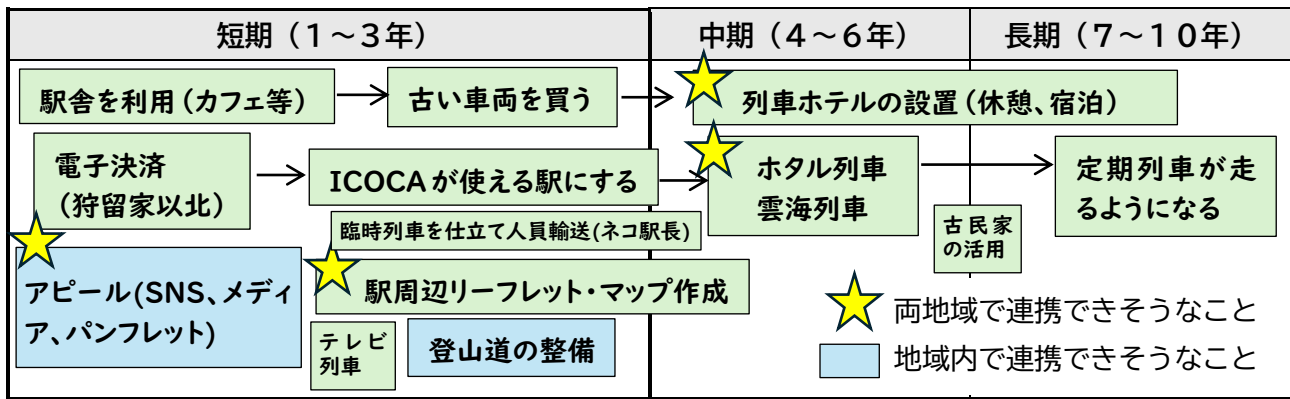
【ターゲット】＝ 観光客、乗り鉄（鉄道愛好家）、猫愛好家（猫好きな人）、シニア

【取組】

- 駅舎を利用する（カフェ等）
- 電子決済ができるようにする
- 古い車両を購入し、休憩や宿泊ができるようにする
- ホタル列車や雲海列車を走らせる
- SNS やメディアでアピールをする
- 駅周辺のリーフレット、マップを作成する
- 登山道を整備する

【協力してほしい人】＝ JR、市議会議員、白木産業、来てくれた女性の旦那さん、高陽地域の皆さん

【スケジュール（ロードマップ）】



【2025年度（令和7年度）のロードマップ】

	2025年									2026年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芸備鉄道110周年イベント	芸備線110周年記念イベント											
			りょうま駅長記念館・打合せ									
ホタル祭り	打合せ		実施（臨時 or 増結列車、向原駅折り返し）									
雲海列車			打合せ							雲海列車		
ネコ写真展				打合せ・写真の収集						ネコの写真展		
駅周辺リーフレット・マップ	駅周辺リーフレット・マップ作成					記念館来訪者に配布						
ネコ観光大使	市へ申請		承認									

■ プロジェクトチームが中心となって実施したいこと

■ プロジェクトチーム同士が連携して実施したいこと

② 白木自然発見

【方向性・目標】＝ 山を知ってもらう、山の維持、登山者の増加、山の利用者の増加

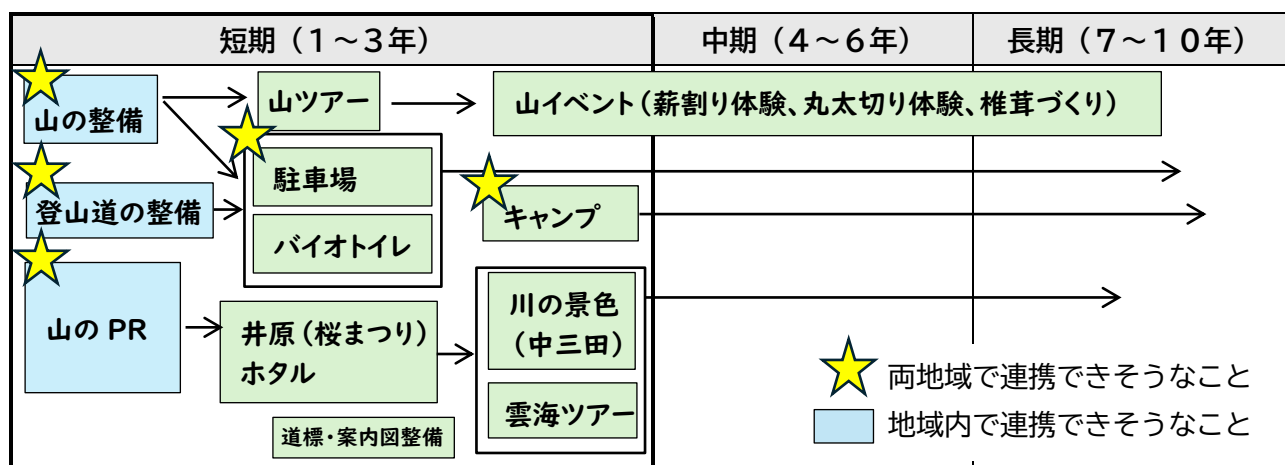
【ターゲット】＝ 全世代

【取組】

- 登山道の整備
- 山ツアー
- キャンプ
- 山のPR

【協力してほしい人】＝ 登山団体、観光課、農林水産課、#白木町広報課

【スケジュール(ロードマップ)】



【2025年度(令和7年度)のロードマップ】

	2025年									2026年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
▶ 山の確認	所有者の確認と承諾を得る		登山道のルート下見、見学ツアー		整備のイベント開催				椎茸収穫体験			
▶ 登山道の整備・活用	登山道整備PJの発足	駐車場の整備	プロジェクトを広げるイベント開催		芸備線ツアー(体力づくり)		パンフレット配布		トレイルランニング開催			
	トイレ設置・行政予算化		芸備線に乗って行く農業体験・野菜作り									
▶ 協力店をつくる	協力してくれる企業を募る		丸太切り体験会 薪割り体験会		・パンフ作り・農業体験・ツアー (駅まで芸備線、マイクロバスを利用)							

プロジェクトチームが中心となって実施したいこと

プロジェクトチーム同士が連携して実施したいこと

③ りにゅーある 里New在

【方向性・目標】＝ 夢を語る

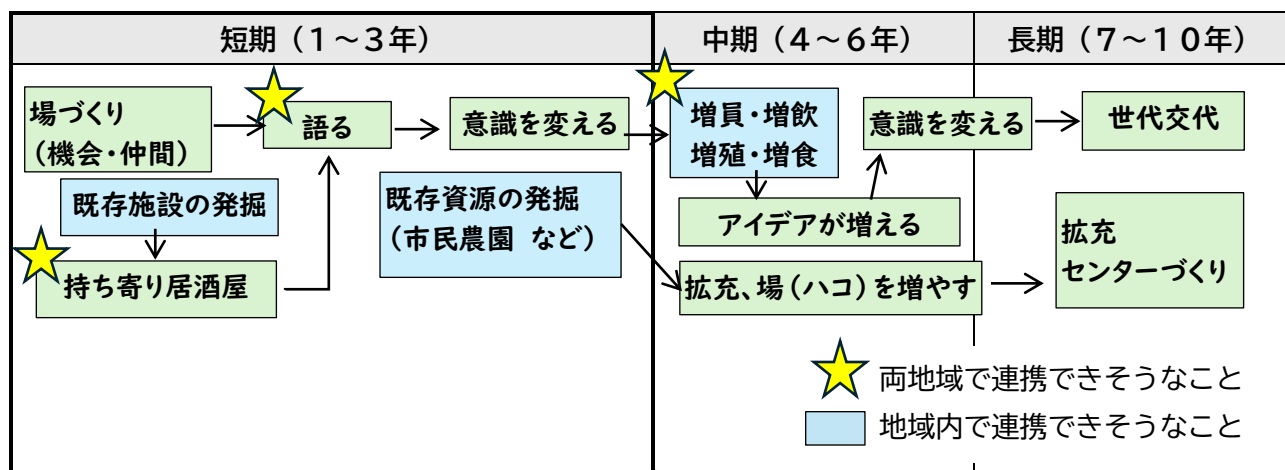
【ターゲット】＝ 全ての人・物・文化

【取組】

- 場づくり(機会・仲間)
- 既存の施設の発掘
- 意識を変える

【協力してほしい人】＝ 料理のできる人、#白木町広報課、広島市

【スケジュール(ロードマップ)】



【2025年度(令和7年度)のロードマップ】

	2025年									2026年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
▶ 定期開催	連絡先集め			開催(増員)		開催(増員)		開催(増員)		開催(増員)		開催(増員)
		開催(白木メンバー)		情報もつ人に来てもらう		ハコ拡大・世代拡大		白木と高陽の連携		イベント連携		
		課題やどんな会にしたいかを前向きに、否定をせずに話す				お店をしている人			白木PJの核に			
						情報収集						

プロジェクトチームが中心となって実施したいこと

プロジェクトチーム同士が連携して実施したいこと

④ #白木町広報課

【方向性・目標】＝ 白木町に来てもらう、白木町を知ってもらう

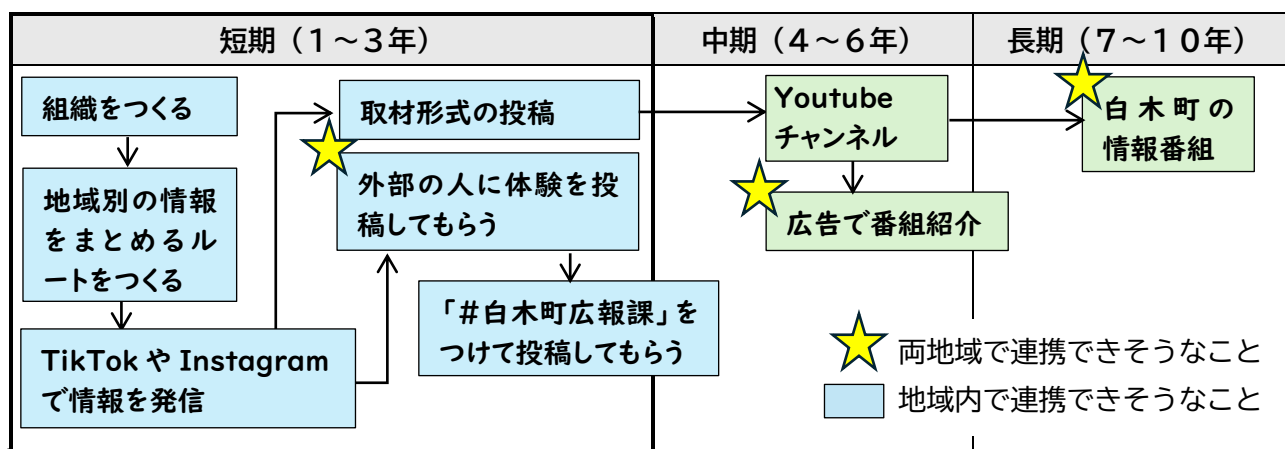
【ターゲット】＝ 高陽・白木地域、芸備線沿線地域

【取組】

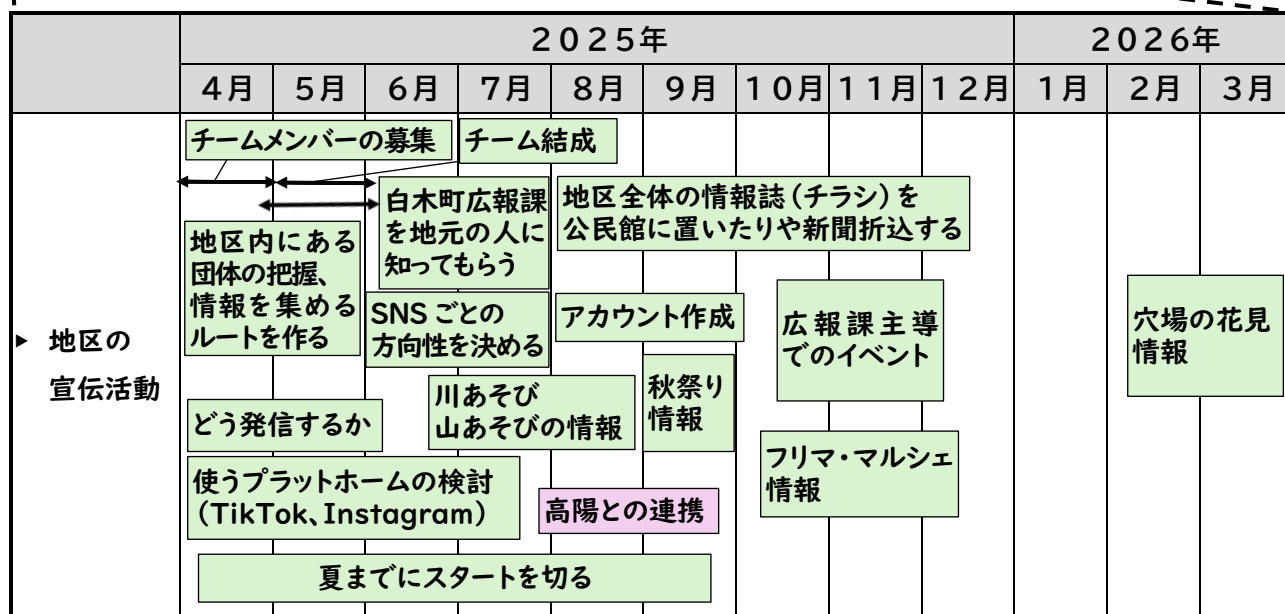
- 組織をつくる
- 情報をまとめるルートをつくる
- 「#白木町広報課」をつけて投稿してもらう
- Youtube チャンネルや情報番組で紹介する

【協力してほしい人】＝ 各地域の団体、動画制作のできる人、インフルエンサー

【スケジュール(ロードマップ)】



【2025年度(令和7年度)のロードマップ】



■ プロジェクトチームが中心となって実施したいこと

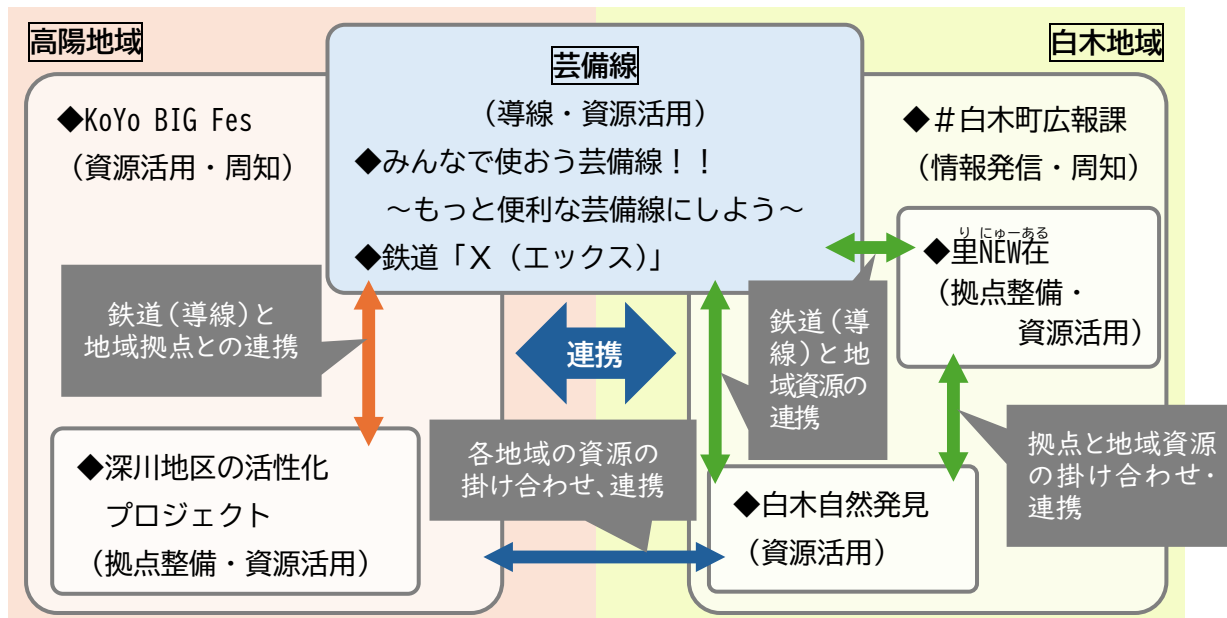
■ プロジェクトチーム同士が連携して実施したいこと

第5章 プラン推進に向けて

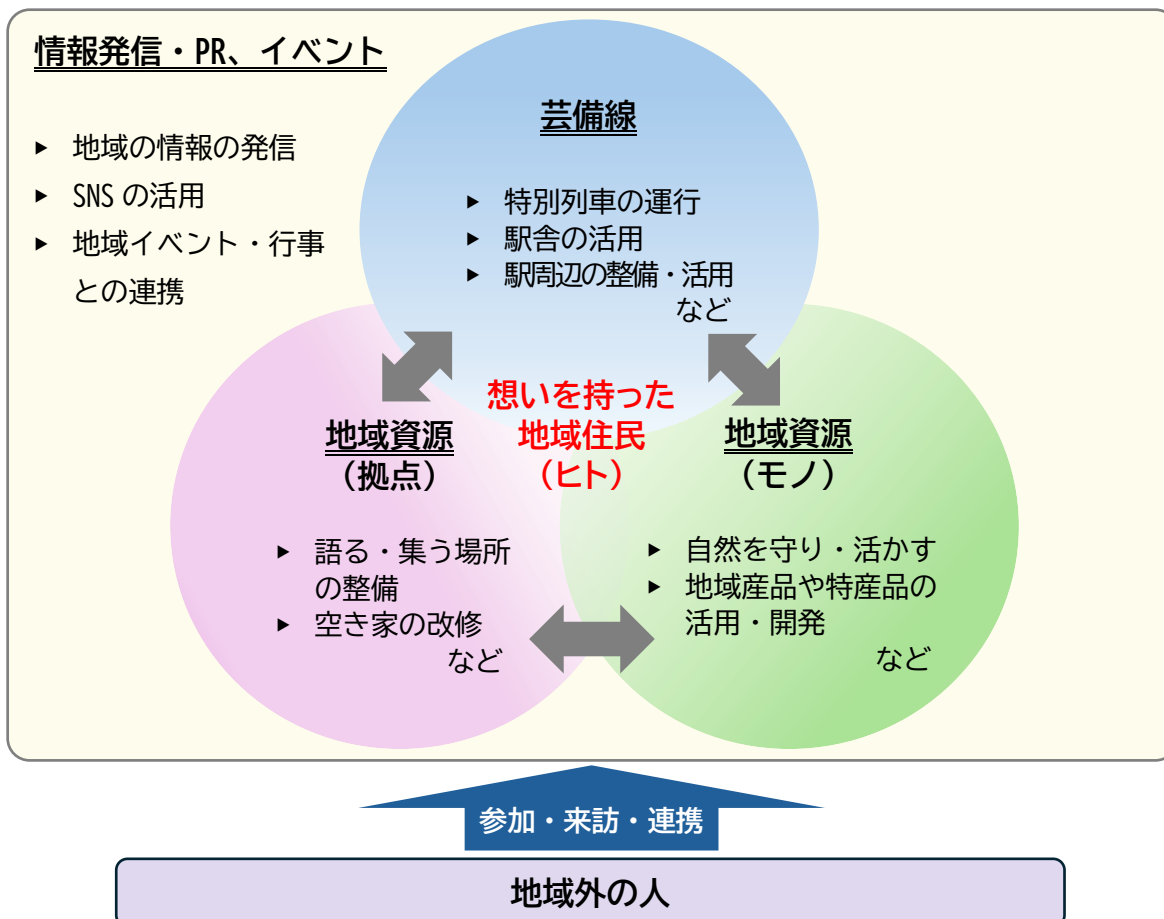
活性化プランの推進に当たっては、芸備線や地域資源の利活用といった両地域に共通する要素を軸に、プロジェクト間の連携や地域間の連携、地域内外の人とのつながりを意識しながら、目指すべき姿の実現に向かって各プロジェクトを着実に進めていきます。

1. 各プロジェクトのつながりのイメージ

(1) プロジェクトのつながり



(2) 全体の取組のつながり



2. 全体の令和7年度のロードマップ（統合版）

前章に記載したプロジェクトごとの中長期的なスケジュールと、前頁のプロジェクトのつながり・全体の取組のつながりを踏まえつつ、令和7年度は、以下のロードマップのとおり各プロジェクトを進めていきます。

プロジェクト	取組	2025年										2026年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
みんなで使おう芸備線！！ ～もっと便利な芸備線にしよう～	▶ 芸備線活性化	アンケートとる (芸備線利用に関する)												
	▶ 各種イベントのPR	高陽・白木の特産品PR			収穫体験PR		ブルーベリー収穫体験			いちご収穫体験				
					狩留家なす収穫体験			農業祭						
鉄道「X」 エックス	▶ 芸備鉄道110周年記念イベント	芸備線110周年記念イベント		りょうま駅長記念館打合せ										
	▶ ホタル祭り	打合せ		実施										
	▶ 雲海列車				打合せ				雲海列車運行					
	▶ ネコ写真展					打合せ	写真の収集		ネコの写真展					
	▶ 駅周辺リーフレット・マップ	駅周辺のリーフレット・マップを作る		記念館来訪者に配布										
	▶ ネコ観光大使	申請		承認										
KoYo BIG Fes	▶ 高陽絆まつり	地域の行事の日程を調べて参加、PRに行く			7/19(土)高陽絆まつり				クリスマスマーケット					
		地域の役員決め		絆まつり会議に参加		丸太切り体験&PR								
		企画書の作成												
		ミーティング①		ミーティング②		薪割り体験								
白木 自然発見	▶ 山の確認	所有者の確認と承諾を得る												
	▶ 登山道の整備	プロジェクトの発足		ルートの下見 見学ツアー		整備・プロジェクトを広げるイベント開催		芸備線ツアー パンフレット配布		芸備線に乗って行く農業体験		椎茸収穫体験		
	▶ 協力店を募る	協力してくれる企業を募る									トレイルランニング開催			
深川地区の 活性化プロジェクト	▶ 下深川駅前再開発	要望書を提出												
	▶ 高陽体育館移転	プロジェクトチーム立ち上げ・集合		新体育館のプラン提出		令和8年度の基本設計予算の要望								
リにゅーある里New在	▶ 定期開催	連絡先集め	★開催(白木)		★開催(増員)		★開催・ハコ拡大・世代拡大 情報収集		★開催(増員)		★開催(増員)白木プロジェクトの核に		★開催(増員)白木・高陽の連携	
					情報を持つ人									
#白木町 広報課	▶ 地区の宣伝活動	メンバー募集	チーム結成団体の把握	使うプラットフォームの決定		SNSの決定、方向性を決め		地区全体の情報誌(チラシ)		秋祭り情報		広報課主導でのイベント フリマ・マルシェ情報		穴場・花見情報
				情報を集めるルートを作る		高陽町との連携		夏までにスタート切る						

プロジェクトチームが中心となって実施したいこと

プロジェクトチーム同士が連携して実施したいこと

(1) 第1回ワークショップニュース・当日資料

令和6年8月
No.01

広島市地域活性化推進課
Tel:082-504-2837
Fax:082-504-2029

高陽地域・白木地域 活性化プラン作成検討 ワークショップ ニュース



高陽・白木地域のこれからのまちづくりについて考える 第1回ワークショップを開催しました!!

高陽地域・白木地域では、平成28年にそれぞれの地域で「まちづくり提言書」を作成され、その後、それぞれの視点でまちづくりの取組が行われていくと、一方で、「若者の流出」や「高齢化」が進行しており、地域コミュニティをどのように維持していくかといった課題があります。さらに、現在、若者層に開いてのあり方についても議論や検討がされており、それらも課題の1つとして受け止めて、将来を展望した上で、「持続的なまちづくり」を実現するための「地域の取組」などを考えることが大切です。

そこで、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」など高陽地域のお住まいの方々に話し合ってもらい、その内容を『活性化プラン』として取りまとめたいです。

ワークショップの手法を取りながら、全4回（高陽地域合同開催、地域別開催含む）で実施を予定しています。第1回目は、7月27日に高陽公民館で開催し、10代から80代までの計40名が参加し、「高陽地域の“これまで”と“未来”について語る」をテーマに様々な思いや考えを対話いただきました。

ワークショッの予定

7月 第1回 (2地域 合同開催)
高陽地域の“これまで”と“未来”について語る!

9月 第2回 (地域別開催)
未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討①

11月 第3回 (地域別開催)
未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討②

1月 第4回 (2地域 合同開催)
これから目指すまちの姿の実現に向けて!

活性化プランのとりまとめ

～当日のプログラム～

1. 開会・あいさつ
2. 事業の説明、活性化プランについて
3. WS全体運営者の紹介
4. ワークショップ(ワールドカフェ)
 - ・方法説明
 - ・アイスブレイク: 名刺作成と自己紹介
 - ・テーマ1: 地域の誇り・大切にしたいこと
 - ・テーマ2: これまでの取組について、情報提供
 - ・テーマ3: これまでの取組と今後の展開①
 - ・テーマ4: 目指すべきまちの姿
 - ・まとめ
 - ・発表
 - ・投票
5. 閉会

テーマ4 目指すべきまちの姿 / まどめ・発表 / 投票

テーマ4では、テーマ1～3を踏まえて「目指すべきまちの姿」について、グループで話し合い、高陽地域の方向性について、検討しました。各グループでまとめた意見を全体で発表してもらい、最後に、高陽地域・白木地域の目指すべき姿として特に重要だと感じた内容に投票してもらいました。

「安心・安全」「若者が帰ってくる」「芸術線も含めた公共交通」「自然との融合」等に対しての投票数が高い結果となりました。








グループが想う目指すべきまちの姿	票数
◆安心安全なまちづくり(災害に強いまちづくり)	20
◆道路網の整備(基幹交通網の整備)	20
◆芸術線を拠点にしたまちづくり ・駅に飲食店(居酒屋・カフェ・野菜販売・果物園を置くこと、駅に行きたくなくなる) ・駅に行くための、ループバスの確立	19
◆安心して親子で遊べる子どもの公園、夜歌める場 ◆自然との融合を計れるあたがい町! (観光マップの作成 など) ◆公共交通の利用促進 (パーク＆ライド・駐車場の整備 など)	15
◆生まれて最後まで一生を送りたいような地域 ・世代と世代の繋がり強い地域 ・居て暮らしたくなるような地域 ・多くの楽しい行事 ・伝統や行事に誇りを持ちたい	11
◆住みやすい町 ・利便性(スーパー、交通の便) ・コミュニケーションの場 ・飲食店(飲む・食べる・カフェ) ・子どもや高齢者が安心できる町	8
◆人の繋がりを大切にすること ・リーディングとなる人、人とのコミュニケーションをつくり、発展させる ◆人々が互いに協力して活動できる場を作り、住むのが楽しいまちづくり ・リーディングとなる人、人とのコミュニケーションをつくり、発展させる ・空家が自由に使えるようにする	7
◆地域ふるさと計画 ・高陽地区内でも各地区で問題となる課題に多様性に着目する	4
◆町内会・自治体の繋がりを大切に、助け合うまちづくり ◆スライズボートの町としてのPR活動を活かしたまちづくり ◆地域内外の人が楽しめるまちづくり ◆既存の交通機関でPRできる部分をつくることで活性化させていく ◆道路インフラの整備 ◆駅近くにも何もないでコンビニやカフェなどアピールできる場をつくる	3

次回 第2回 未来の地域の姿を実現するための 取組・アイデアの検討! ①

(白木地域)

日時: 9月28日(土) 18:00～(2時間程度) 場所: 白木公民館 第1研修室
(高陽地域)

日時: 9月29日(日) 14:00～(2時間程度) 場所: 高陽公民館 研修室1

1 回目は「両地域の「これまで」と「未来」について語る！」をテーマに話し合いました！

当日のワークショップの流れ

当日は、活性化プランを検討する
趣旨や背景等についての情報提供を
行い、テーマごとに対話を行うワー
クショップを実施しました。
最後に、すべてのグループから
お話しいただいた内容を発表していた
きました。

事業の説明



ワーク



気づいたことを子どもテンプレート
クロス（模造紙）に記入

ワーク



席を移動してより多くの人と
対話（ワールドカフェ方式）

グループごとに発表



投票



テーマ1 地域の誇り・大切にしたいこと

テーマ1では、「地域の誇り・大切にしたいこと」について思うことをグループで出し合い、それぞれの地域の誇りや両地域で共通していることなどを共有しました。自然や歴史のみならず、地域の行事や人のつながりなど、地域の誇りや大切にしたいことがたくさん挙げられました。

カテゴリー	主な意見(抜粋)	
	高陽地域	白木地域
自然・歴史・特産	・本田川・河川敷 ・郷土史研究会 ・三篠川 ・旧中郡道 ・子供たちが外で遊べる環境 ・他の場所から移住してきた人から魅力的に見える公園 ・子供たちが外で遊べる環境 ・子供たちが外で遊べる環境	・白木山 ・安楽山 ・雲海 ・神ノ倉山 ・ボタル ・雲海
施設・公園	・子供たちが外で遊べる環境 ・他の場所から移住してきた人から魅力的に見える公園 ・子供たちが外で遊べる環境	・ハンブライダー・バラグライダーのテイクアウト ・ハンブライダー（スライズポニー）の聖地になっている ・スーパードール、もぐり、モーモーミル
祭り・イベント	・亀崎神社 秋季例大祭の奉納花火「吹火」 ・伝説・文化・芸能・地域行事の保存及び継承 ・篠笛の達人（人的資産） ・人や町内（つながり）	・ボタル祭り ・小中学校の人数が少ないので、みんな仲が良い ・人と人との関わりが深く、情報がすぐに入ってくる ・声をかけたら協力してくれる人が多い
人・まち	・篠笛の達人（人的資産） ・人や町内（つながり）	・小中学校の人数が少ないので、みんな仲が良い ・人と人との関わりが深く、情報がすぐに入ってくる ・声をかけたら協力してくれる人が多い
芸術・交通	・基幹となる交通網	・りようま記念館 ・ネコ駅長やまど、副駅長らどり
両地域に共通		
自然・歴史・特産	・自然、歴史が豊か ・野生動物が多い ・夏祭り ・学区内のイベント（ふれあい祭り、盆踊り、運動会）	・子供神楽（市無形文化財） ・歴史が深い
祭り・イベント	・学区内のイベント（ふれあい祭り、盆踊り、運動会）	・祭りを後世に残したい
人・まち	・みんな知り合い ・みんな助け合い ・人が優しい ・絆が強い ・人のつながり	・地区内のコミュニケーション ・地域の人が大人になっても長く付き合っている
芸術・交通	・芸術 ・交通	・芸術 ・交通



テーマ2、3 これまでの取組と今後の展開について

テーマ2・3では、「これまでの取組と今後の展開」について、「住みよさ」「安全・安心」「人が集まる・賑わい・楽しい」「自然」「その他」の5つの項目について、それぞれ地域で取り組んできたことや今後取り組んでみたいこと等を対話しました。

	主な意見(抜粋)	
	高陽地域	白木地域
住みよさ	・高陽ニュータウンの再利用や緑化放棄地対策 ・安佐北区和安佐南区を繋ぐ。 ・子ども（見守り）をしっかりしている。 ・歩道の確保	・人と人との関わりが多く、知らない人はいない。 ・人々に活気があり、互いに協力し、住むのが楽しい町等 ・人と人との交流があるので情報がすぐに入ってくる。 ・空き家対策
安全・安心	・歴史資源活用 ・子供が楽しめるイベント開催の創出 ・芸術家へのアプローチ向上して人があつまるところの創出 ・観光マップを作り、観光客を呼びこむ。 ・自然との融合を図れるあたかもまち	・小中学校を中心に祭りのメインを行う行事がある。 ・ネコ駅長らどり、もぐり、モーモーミルの2匹のネコ活用 ・いご、ブルーベリー、特産品の広報、広告、観光マップ等 ・自然が多くあり、山歩きやハンブライダー等が楽しめる。 ・自然を守るための環境整備を推進して行かない。 ・荒谷山・神ノ倉山へのアプローチをよき、観光客を呼びこむ。 ・自然や野生動物、ボタル・オオサンショウウオを守る。 ・体験イベント開催
自然	・自然との融合を図れるあたかもまち	・自然が多くあり、山歩きやハンブライダー等が楽しめる。 ・自然を守るための環境整備を推進して行かない。 ・荒谷山・神ノ倉山へのアプローチをよき、観光客を呼びこむ。 ・自然や野生動物、ボタル・オオサンショウウオを守る。 ・体験イベント開催
その他	・自治会・町内会イベントを開く。 ・田舎暮らしの良さを宣伝して若い人に住んでもらう。 ・白木地区への交通手段を増やす。	・町から出た若者を呼びこめるような地域にする。 ・住民が自分の住んでいる地域が好き、他地域の人に自信をもって言える
両地域に共通		
住みよさ	・みんな助け合いが大切である。 ・若者と高齢者のコミュニケーションが取りやすくなればいい。 ・SNSを中心に発信していく。	・公共交通の充実（タクシー、タクシー、バスなど） ・災害時の道路やルート確保
安全・安心	・ひびき暮らしの高齢者を助ける、家の片づけをする。 ・災害に強い地域にする。（防災センターの設置、水害対策など） ・道路の整備（狭い道、急な坂、急なカーブの多い場所もある）	・ひびき暮らしの高齢者を助ける、家の片づけをする。 ・災害に強い地域にする。（防災センターの設置、水害対策など） ・道路の整備（狭い道、急な坂、急なカーブの多い場所もある）
人が集まる・賑わい・楽しい	・自治会・町内会イベントや地域の特産品を活用した行事を行う。 ・駅自体を賑わいの場所にする（道の駅、カフェなど）	・飲食店やカフェ、駅の中に居酒屋がほしい。 ・盆踊り、お祭りを行う、祭りを増やす、発信する。
その他	・地域自治を担ってきた方が高齢化しているのを、継承できるように、現役世代と交流する機会をつくる。 ・昔からある伝統を新しくはじめること、子どもたちも平等に大切にすること。	・地域自治を担ってきた方が高齢化しているのを、継承できるように、現役世代と交流する機会をつくる。 ・昔からある伝統を新しくはじめること、子どもたちも平等に大切にすること。



【グループまとめシート】

目指すべきまちの姿	キーワード	投票数
・安全安心なまちづくり(災害に強いまちづくり) ・道路網の整備(基幹交通網の整備) ・若者が帰ってくるまち(若者の定着化) ・高齢者にも住みよいまちづくり	安全安心 交通・インフラ 住みよさ	20
☆芸備線を拠点にしたまちづくり ・駅に飲食店(居酒屋)、カフェ、野菜販売、保育園 → 駅に行きたくなる ・駅に行くための、ループバスの確立 → 行く人が増えれば、本数が増える	施設 交通・インフラ	20
・親子で遊べる子どもの公園、夜飲める場(高陽) ・安心して遊べるまちにする! 観光マップ ・自然との融合を図れるあたたかい町!(白木・安駄山・荒谷山・神ノ倉) ・公共交通の利用促進 ・住民主体のパーク&ライド ・駐車場の整備、高陽インター ・交通整備	施設 安全安心 自然 交通・インフラ	19
・生まれて最後まで一生を送りたくなるような地域 ・世代と世代の繋がりが強い地域 ・戻ってきたくるような地域 ・多くの楽しい行事 ・伝統やしきたりにとらわれない	住みよさ 人とのつながり まち・地域 行事 文化・伝統	15
住みやすい町 →利便性(生活)(スーパー/交通の便) →コミュニケーションの場(キャンプ場/トレイルラン→自然/飲食店(ハウス) 飲む! 食べる! カフェいっぱいやろうや! →子ども・老後(弱者)が安心できる町	交通・インフラ 施設 安全安心	11
人の繋がりを大切に作る街	人とのつながり	8
地域ふるさと計画 高陽地区内でも各地区での問題は個々に多様性に富んでいて、「これ」 って決める事は難しい 白木地区と共同問題として仲良くなれば… ・高陽 防災(川) ・白木 自然 駅 空 ・芸備 駅行(バス)アクセス、駐車場など、駅前店他保育園 ・道の整備	安全安心 自然 交通・インフラ 施設	7
・人々が互いに協力して活気あふれる場を作り、住むのが楽しい町造り。 ・高齢になっても交通が重要。芸備線を良くしなければならぬ。 ・空き家が自由に使えるように…。 ・町の事情と田舎の事情は大きくことなっている。一緒に語ることが難しい ・住んでる人が楽しめていれば自然と人が集まってくる。 ・道路を良くしなければならぬ。	人とのつながり 交通・インフラ 空き家の活用 まち・地域	7
【高陽】 ・災害に強い町づくり ・町内会・自治体の繋がりを大切にして、助け合う町づくり	人とのつながり 安全安心 自然 まち・地域 施設	4
【白木】 ・災害に強い ・自然を活かした町づくり ・楽しいまち ・深堀り ・小中一貫校		
・既存の交通機関で PR できる部分をつくって活性化させていく ・道路インフラの整備 ・駅近くに何もないのでコンビニやカフェなどをつくる	交通・インフラ 施設	3

【個人まとめシート】

■ 高陽地域

テーマ1:地域の誇り・大切にしたいこと	テーマ2～3:これまでの取組と今後の展開	テーマ4:目指すべきまちの姿
(自然・環境) ● 自然が豊か、夜静か ● 自然環境の保全 ● 地域資源(自然の山、美味しいものなど)を生かして活性化 ● 他の場所から移住してきた人から魅力的に見える公園や河川敷、山等の自然景観 ● 観光資源を他地域にもっとアピールする (歴史・文化) ● 歴史が豊か、歴史を掘り下げる ● 歴史建造物の保全 ● 伝統・文化・芸能の保存及び継承 ● 手作り花火など地域ならではの文化 ● 地域の人材の有効活用(伝統・文化など) ● 中郡道プロジェクト結成 (人とのつながり) ● 地域の人の結びつきの強さ、地域の絆 ● 若い人たちとの交流を増やしたい ● 人間関係のつながり ● つながり(ゆりかご～はかばまで) (資源) ● 野菜 (行事) ● 町内のつながり(町内運動会や祭り) ● イベント(ふれあい祭り・盆踊り・運動会) ● 地域行事の継続(お祭り、神楽) ● 自然を生かした集客できるイベントなど ● 町内会のイベント等で交流を深める ● 白木・高陽各地域で自治会、学区社協、地域組織、企業が協力してお祭りをやる (その他) ● 道路整備等で安全に暮らせるように ● 子供達が楽しく集まれる場所を増やす ● 「狩留家なす」特産品化	(公共交通とその周辺環境) ● JRの活性化、各駅周辺の駐車場整備、基幹交通網の整備 ● 古い団地は道が狭く、ループバスが来ない ● 白木地域への交通手段を増やす (インフラ) ● 道路の拡張などによる安全面の強化、混雑の解消 ● 道路幅が狭く自転車等が危ない、歩道が少なく子育てに不安 ● 志和 IC～狩留家の道路整備(災害時のルート確保) ● 市内とのアクセス強化 温品バイパス延伸 ● 「狩留家」をパーク＆ライドステーションに ● 坂道が多く、買い物に行きにくくなる (娯楽、施設) ● 大人が楽しめる場所が少ない(全く無い?) ● 子供の自然公園を作る、飲食店、子どもが遊べる場等を増やす ● JR 無人駅を一般人へ提供し、居酒屋、喫茶店等の設置 (情報発信) ● 農業など若い方へ紹介、田舎暮らしの良さを宣伝し、若者の定着化を図る。若い人が楽しいと思える街づくり ● 荒谷山や猫駅長など有名なものを SNS で発信 ● 観光マップを作り、観光客を呼び近隣 JR 駅への住民主体移送サービス渋滞緩和 (災害、防災) ● 災害に強いまちづくり、安心安全な町づくり ● 道路が 1 本しかないため災害時に孤立する ● 大災害の発生時への対応(高陽インターを利用した高陽ニュータウンへの災害本部の設置・全国からの応援部隊の受入れ) (資源) ● 「狩留家なす」の加工品化による地域活性化 ● 白木山、安駄山、荒谷山、神ノ倉を整備 (その他) ● 人口減少の原因として交通不便、働く場所が少ない ● ボランティアグループの活性化と取り組み ● 高齢化により空家が多くなる ● 昭和の活動→令和の活動	(公共交通とその周辺環境) ● 各家庭から拠点駅まで交通手段をつくる(インフラ) ● 道路網が発達している地域 (娯楽、施設) ● 芸備線へのアクセス向上(ループバス)で人があつまる場所の創出 ● 駅の特徴(魅力)を出し、目的地をつくる(カフェ、ネット購入の荷物預かり等)→雇用が増える→人が増える(住む所は空家を活用) ● 住民が自ら楽しめる施設 (災害、防災) ● 災害に強い、安心安全なまちづくり (資源) ● 自然との融合を図れるあたたかい町 ● (人とのつながり) ● 各町内会・自治会でのつながりを大切にし、困った時に連携し助け合えるまちづくり (行事・イベント) ● 子供も楽しめるイベント賑わいの創出 (まち・地域) ● 子育て環境が良い町 ● 白木・高陽地区の道路の整備と高齢者・子ども達の暮らしやすい町 ● 高齢化の街なので、若い人も加わりここに住みたいと思える街づくりができればよい ● 高齢になっても住み続けられる地域環境 ● 高齢者でもすみよい地域 ● 若者が帰ってくる町 ● 安心して遊べる町にする

■ 白木地域

テーマ1:地域の誇り・大切にしたいこと	テーマ2～3:これまでの取組と今後の展開	テーマ4:目指すべきまちの姿
(自然・環境) ● 「自然」＝白木山・荒谷山・三篠川 ● 自然の美しさ(山、川、ホテル等) ● 自然が多くある ● 静かな環境 ● 荒谷山や白木山などの環境資源 ● 農業 ● 安駄山、白木山、神の倉山、スカイスポート ● 休耕田活用→民泊、農泊、キャンプ、BBQ へ ● 自然が多く、その自然メインで人を呼べる ● 田畑が多く、動物が多く見られる ● 住みやすさと自然を生かす (人とのつながり) ● 人・地域とのつながりの強さ ● みんな友達→小中学校の人数が少ないので、みんな仲が良い ● 声をかけたら協力してくれる人が多い ● 人と人との関わりが深く、情報がすぐに入ってくる ● 自然があり(山、川、ホテル、雲海など)それを大切にしながら、新しい観光資源となるような取り組みを地域と連携して取り組んでいるのが井原地区の誇り ● 老若男女が楽しんでコミュニケーションが取れるという人間関係 ● 田舎なので人の繋がりは特に大切 (資源) 「観光」:猫駅長、もぐベリー、モーモーミルク、リシェット、鯉のぼり (行事) ● 神楽 (その他) ● 不便さがたまらなく好き ● 芸備線	(公共交通とその周辺環境) ● 芸備線区間内の延長(狩留家より先まで行くものを増やす) ● 芸備線と地域活性→ネコ駅長、増便、離合スペース ● 交通・交通網の整備(渋滞緩和、歩道が狭い、危険?) ● 交通が悪いので気軽に遊びにも行けず、若者が出ていく一方 ● 車があることが前提になっている、駐車場を作る ● 駅までのアクセスを良くする、ループバスや連絡バスなど ● 駅自体を訪れる場所にする(道の駅化、カフェなど) (インフラ) ● 道路整備 ● 井原のわくわくプロジェクトなど、人を呼ぶための活動ができてきているから、道路設備を整える (情報発信) ● 観光マップを作って、駅などに置く ● 各地区の特産、店等をマップにしてアピール (資源) ● 荒谷山、神の倉山、ネコ駅長などのアピール ● 取り組んでいないのでわからないが田畑の活用 ● 自然の魅力をアピールしてきた(井原) (人とのつながり) ● 地域自治を担ってきた方の高齢化→若者に継承できるように、現役世代と交流する機会をつくる (行事・イベント) ● お祭り→減少、高齢化、人が集まる機会が少ない ● 行事に参加する ● ふるさとの自然を再発見するイベントが従来から行われている ● 地域イベントを見直し、新しいものに進化させていく取組が行えたら良い。老若男女が対話する機会を増やしてコミュニケーションを図るのが今後の課題 ● 人が楽しめるイベント関係は今後も仲間たちとやっていきたい (その他) ● 新規産業(イチゴ、ブルーベリーなど)を拡大していく ● 高陽と白木だけでは語れない、細分化必要 ● キャバを超えると地域に迷惑をかけるのでよく考えていく ● 例年通りの事、やらされている→やる、今やりたい・出来る事	(インフラ) ● インフラを整える(梅林のあたりを参考に) (娯楽、施設) ● 飲食店を増やす(交流が図れる) (情報発信) ● 若者がもっと発信していく(SNS 利用など) (災害、防災) ● 安全な町(河川、山、災害に強いまち) (資源) ● 自然を生かしたインフラ設備(キャンプ場、トレイルランなど) (人とのつながり) ● 今のままだと友達がなくなってしまう ● 協力したくても人がいなくなる ● 世代間のギャップが少なくなっている ● 町から出た若者を呼び戻せる地域にする (行事・イベント) ● 住民が楽しめる行事はやはり必要 (住みよさ) ● 年をとっても住みやすい(利便性や安全安心) (まち・地域) ● 人口増 ● 楽しい町 ● 会話がある町づくり、話を聞く ● 人々に活気があり、互いに協力し、住むのが楽しい ● 個々の地区の活性化が地域全体の活性化へ ● 関わる全ての人が楽しめるような町にしたい、言葉を否定するのではなく、聞く耳を持って考える ● 住民が自分の住んでいる地域が好き、他地域の人に自信をもって言えるようにしたい (その他) ● 住民一人一人が、真剣に話し合う場が必要

(2) 第2回ワークショップニュース・当日資料

グループの発表

グループごとに考えたプロジェクト名や目指すべき方向性、実施内容について発表してもらいました。

高陽地域の活性化プロジェクト
体育館や中深川駅、周辺の道路も含めて
トータルで考えた方がいい。建て替えるか
そこそくりを多くしたい。
スポーツ以外の場面でも人が集まれるよ
うな施設にしてはどうか。

**若者と高齢者の方がどちからも来
たいと思うものにする。
いろんな人が興味を持ってもら
えるようなイベントをつくりたい。**

高陽ゲートパーク化計画
寺迫公園とフジグランの近くにあり
る公園でイベントができたらい。こ
神楽など地域の人が発表できるこ
とが大事。近隣や遠方からも来や
すい環境やイベントをつくりたい。

みんなで作ろう芸術線！！
～もっと便利な芸術線にしよう～
芸術線の駅まで行くことが大変なた
め、パーク&ライドや駅までのバスが
あるとよい。
高陽・白木を知ってもらうイベントや
地域の特産品を駅で販売すること
で、利用が促進されるのではないかい。

KoYo BIG Fes
若者と高齢者の方がどちからも来
たいと思うものにする。
いろんな人が興味を持ってもら
えるようなイベントをつくりたい。

芸術線の活性化
芸術線の利便性向上、利用客の増
加を目指したい。
駅1つ1つに話題性をつくり、利用
客を増加させていきたい。

鉄道「X」
芸術線の利用促進は地域の活
性化につながる。
外から来た人に、どこかいいと
ころがあるかと聞かれるが、交
通手段がないため、努力してい
く必要がある。

白木自然発見
白木町は山が非常に多く、そ
れぞれが魅力的。しかし、魅
力が十分に活かされていない
ので、自然の魅力を内外に
発信していきたい。
山の利用者と登山者を増や
すために、登山のインフラを
整備する。そのために周知や
収益が上がる仕組みがあれ
ばいいのではないかい。

#白木町広報課
まず知ってもらわないとい
けない。
各地域のSNSも使いつ
つ、一体的に情報を発信
することによってみんなの目に
つくようにするというのが
一番大事。

資源の活用（意識改革）
どの世代の人も意識を変え
る。意識改革をしていく。
お互いの意見をしっかりと入
れて意識を変えて使える行
動を持つのが一番大事。

白木町広報課
まず知ってもらわないとい
けない。
各地域のSNSも使いつ
つ、一体的に情報を発信
することによってみんなの目に
つくようにするというのが
一番大事。

資源の活用（意識改革）
どの世代の人も意識を変え
る。意識改革をしていく。
お互いの意見をしっかりと入
れて意識を変えて使える行
動を持つのが一番大事。

次回

第3回 未来の地域の姿を実現するための 取組・アイデアの検討！②

(高陽地域)
日時：11月24日(日) 14:00～(2時間程度) 場所：高陽公民館 研修室1
(白木地域)
日時：11月30日(土) 18:00～(2時間程度) 場所：白木公民館 第1研修室

高陽地域・白木地域 活性化プラン作成検討 ワークショップ ニュース

令和6年10月
No.02

広島市地域活性化推進課
Tel:082-504-2837
Fax:082-504-2029



高陽・白木地域の地域ごとのビジョンや取組について考える 第2回目のワークショップを開催しました！！

高陽・白木地域の『活性化プラン』の作成に向け、両地域のお住まいの方に参加いただき、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」などをテーマとして、全4回(両地域合同開催、地域別開催含む)のワークショップを行っています。第1回目は、「両地域の“これまで”と“未来”について語る」をテーマに両地域の方向性について、検討してもらいました。

第2回目は、9月28日(日)に白木地域、9月29日(月)に高陽地域で開催しました。計38名(高陽地域：22名、白木地域：16名)が参加し、「未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討1」をテーマに、地域ごとの目指す方向性やその実現に向けて取り組みたいことを対話いただきました。

ワークショップの予定

7月
第1回(2地域 合同開催)
両地域の“これまで”と“未来”について語る！

9月
第2回(地域別開催)
未来の地域の姿を実現するための
取組・アイデア検討！①

11月
第3回(地域別開催)
未来の地域の姿を実現するための
取組・アイデア検討！②

1月
第4回(2地域 合同開催)
これから目指すまちの姿の実現に向けて！

活性化プランのとりまとめ

～当日のプログラム～

1. 開会・あいさつ
2. 事業の説明
3. WS 全体運営者の紹介
4. 前回の振り返り
5. ワークショップ(ワールドカフェ)
 - ・方法説明
 - ・アイスブレイク：名札作成と自己紹介
 - ・テーマ1：地域の将来像を整理
 - ・テーマ2：将来像を実現するために、取り組むべきことの整理
 - ・テーマ3：テーマ2の中で取り組みたいことの整理
- ＜話したいテーマでグループ分け＞
- ・チームに分かれて、プロジェクトシートの作成
- ・まとめ
- ・発表
6. 閉会

地域ごとの「将来の目指す方向性」や「その実現に向けた取組」について話し合いました！

当日のワークショップ（WS）の流れ

当日は、第1回目のWS結果を踏まえ、地域の将来像を整理し、その実現に向けて、必要となる取組や取り組みたいことを話し合いました。また、取組のテーマ（プロジェクト）ごとにチーム（プロジェクト）ごとに話し合い、実施内容を検討し発表いただきました。

事業の説明



ワーク



取組検討たいテーマごとにチーム分け、プロジェクトシートを作成



チームごとに発表

地域の将来像・プロジェクトの検討

第1回目のWSで考えた「両地域の目指すべき姿・方向性」をもとに、各地域の将来像をグループで整理し、全体で地域の目指す方向性を確認しました。そして、それらを実現するために地域で取り組みたいこと、必要となる取組について話し合いました。特に地域で取り組みたいテーマごとにチームに分かれ、取組む内容＝プロジェクト＝3チーム・5チーム・白木地域は4チーム・4チームに分かれて、プロジェクト名、目指すべき方向性や目標、実施内容について話し合い、プロジェクトシートを作成しました。

《地域の将来像》

将来像を踏まえ、取組のテーマを検討

両地域の目指すべき姿（第1回検討内容）※詳細は前回ニュース参照

高陽地域

- 住みやすいまち
- 高齢者に住みやすいまちづくり
- 交通の整備
- 若者と高齢者のバランス
- 生まれ、育ち、暮らし、死まで一生涯を送りたく
- 生まれて暮らす地域
- 戻っていきたくなくなるような地域
- 安心安全のまちづくり
- 災害に強いまち

地域の将来像を全体で共有

《プロジェクト概要》

テーマ	プロジェクト名	目指すべき方向性・目標	実施内容・取組内容
整備線の活性化	みんなが使う整備線!! ～もっと便利な整備線にしよう～	● 各JR駅までのバス（ジャンボタクシー） ● パーク＆ライド（駅付近） ● 生活バスのサブスク化 ● 整備線の利便性を向上する	・高陽、白木のイベント ・整備線スタンパライ ・JRとの地域イベント ・各地域の特産品をリンクしあう（三田のイチゴ、井原のジエ他） ・中間駅をパーク＆ライドの機能を持つ駅とする。
みんなが集まれるイベントを企画する	KoYo BIG Fes	● 若者を呼び、地域の特性を生かしたものを ● 自然を生かす・SNS等の活用により広報する ● だれでも参加できる環境づくり ● 異世代交流できる場所づくり ● 近隣の方にも集まれるイベント	・音楽フェスとセットで地域の伝統「神楽」競演（高陽地区） ・「荒谷山雲海」ツアー ・有名・著名人を呼び ・本・ぶつづつ交換 ・クリスマスマーケット ・Cafe、Wine、ハイボール ・フリーマーケット ・ドリミネーション的な？ インスタ映え。映える背景 ・MUSIC ステージ発表 ・花火
高陽体育館の建替え	高陽ゲートパーク化計画 深川地区の活性化 プロジェクト	● 建替えるからこそ「ウリ」を多くしたい ● 子供も大人も集まれる場所 ● 整備線との連携 ● 可部とのつながり	・フットサル、ボルダリングなど他の地域でできないスポーツができる ・商業団にも使ってもらえるように ・避難所としての機能 ・エルモ、こども食堂（社会福祉事務所）を入れる ・駐車場の共同利用 等

将来像を踏まえ、取組のテーマを検討

両地域の目指すべき姿（第1回検討内容）※詳細は前回ニュース参照

白木地域

- 生まれ、育ち、暮らし、死まで一生涯を送りたく
- 生まれて暮らす地域
- 住みやすいまち
- 自然との融合を図れ、人々が互いに協力して活気あふれる、住むのが楽しいまち
- 戻っていきたくなくなるような地域として、地域の活性化を進めていく

地域の将来像を全体で共有

テーマ	プロジェクト名	目指すべき方向性・目標	実施内容・取組内容
自然の有効活用	白木自然発見	● 登山者の増加 ● 山の利用者の増加 ● 山の整備 ● 意識を変える	・山ツアー ・山のPR ・登山道の整備 ・キャンプ ・山イベント ・山の景色（中三田） ・井原（桜まつり） ・子供山イベント ・住居：空き家の有効活用 ・この世代の人も意識を変える ・まえる仲間：若い人（既にあるひと）、外から来たひとこそ見つけられる魅力 ・温故知新（古いこと、新しいことを聞かされた中で1つのことを進める） 等
既にあるものを活かした取組	資源の活用（意識改革）	● 知らないことを知ってもらう ● 町全体をアピール ● いろいろな世代に集めるように情報発信 ● その地域の一つのシンボルになる 等	・SNS-インターネット使わない層にも子供などから情報入る ・各地域の SNS などまとめて出す（今はバラバラ） 等
情報発信	#白木町広報課	● テレビ付き電車 ● いつでも、どこでもサッと集まれる環境にする ● 駅までの交通手段を作る 等	・駅舎を利用（カフェ等） ・駅前に魅力ある施設を作り、人々を集める ・臨時列車を仕立てて人員輸送する（ネコ駅長） ・駐車場整備 ・ネコ駅長を活用したまち ・駅周辺のリーフレットやマップ作成。
整備線の活性化・利用促進	鉄道「X」		

【プロジェクトシート一覧表】

	プロジェクト名	目指す方向性・目標	実施内容・取組内容
高陽地域	みんなで使おう芸備線!!～もっと便利な芸備線にしよう～	・各JR駅までのバス(ジャンボタクシー) ・パーク&ライド(駅付近) ・生活バスのサブスク化 ・可部線と芸備線相互乗入	・高陽・白木でのイベント ・芸備線スタンプラリー ・JRとの地域イベント
	芸備線の活性化	・芸備線の利便性を向上する	・話題性で人を集める ・駅周辺の整備を行う ・駅の周りへ飲食店を誘致 ・各地域の特産品をリンクしあった地域おこし(三田のイチゴ、井原のジビエ) ・中間駅にパーク&ライド機能
	KoYo BIG Fes	・若者を呼び ・地域交流会・活性化 ・地域の特性や自然を生かす ・SNS等の活用による広報 ・誰でも参加できる環境づくり ・芸備線・バスによる”足”の確保	・音楽フェスとセットで地域の伝統”神楽”競演 ・荒谷山雲海ツアー ・有名・著名人を呼び
	高陽ゲートパーク化計画	・異世代交流できる場所づくり ・近隣の方にも喜ばれるイベント	・本・物々交換 ・クリスマスマーケット ・花火 ・cafe,Wine ・インスタ映え・映える背景 ・フリーマーケット ・MUSIC ステージ発表
	深川地区の活性化プロジェクト	・建て替えるからこそ「ウリ」を多くしたい ・子どもも大人も集まれる場所 ・芸備線との連携 ・可部とのつながり	・フットサル・ボルダリングなど他地域でできないスポーツができる ・エアコン設置は必須 ・実業団にも使ってもら ・LMO,子供食堂 ・避難所としての機能 ・駐車場の共同利用 ・県道 70 号整備

	プロジェクト名	目指す方向性・目標	実施内容・取組内容
白 木 地 域	白木自然発見	・登山者の増加 ・山の利用者の増加 ・山の整備	・山ツアー ・山の PR ・登山道整備 ・バイオトイレ整備 ・キャンプ ・山イベント ・駐車場(休耕地活用) ・ホテル ・子ども山イベント ・川の景色(中三田) ・井原桜まつり
	資源の活用(意識改革)	・意識を変える	・空き家の活用 ・どの世代も意識を変える ・支える仲間:若い人(既にいる人)・外から来たからこそ見つけられる魅力 ・温故知新 ・分母(人口)を増やす
	#白木町広報課	・知らないを知ってもらう ・町全体をアピール、色々な世代が楽しめる情報を発信 ・地域のシンボルの一つになる	・多くの人の目につくように ・公式ハッシュタグ ・白木全体の SNS 等 ・WEB を使わない層にも子供から情報入る ・各地域の SNS をまとめて出す
	鉄道「X(エックス)」	・テレビ付電車 ・いつでもどこでもサッと乗れる ・駅までの交通手段確保 ・利用率を高める ・本数・車両数を増やす ・電子決済	・駅舎を利用(カフェ等) ・駅前に魅力ある施設を作る ・臨時列車を仕立て人員輸送する(ネコ駅長) ・駐車場整備 ・ネコ駅長を活用したまちづくり ・駅周辺マップ等の作成

地域内外で連携できそうな取組

高陽地域・白木地域の両地域で連携してできそうな取組と、地域内のプロジェクトチームと連携してできそうな取組を考えてもらいました。

高陽地域	
プロジェクト名	地域内外で連携できそうなこと
みんなてほおろ芸備線!! ～もっと便利な芸備線にしよう～	◆ 地域の特産物の宣伝 ◆ 高陽・白木やJRとのイベント
深川地区の活性化プロジェクト	◆ 飲食店のオープン ◆ 公共施設や避難所の設置 ◆ スポーツ大会
KoYo BIG Fes	◆ ステージ発表 ◆ フリーマーケット ◆ 告知・宣伝
白木地域	
プロジェクト名	高陽地域と連携できそうなこと
鉄道「X」 EX-02	◆ アピール、マップの作成 ◆ 列車ホテルの設置 ◆ ホテル列車や雲海列車を走らせる
白木自然発見	◆ 山・登山道の整備 ◆ 山のPR ◆ 一緒に夢を語る ◆ 既存施設の発掘
重New住 重New住	◆ 情報の提供・収集 ◆ 団体への取材
#白木町広報課	◆ 情報の紹介

グループの発表

グループごとに考えたプロジェクトの目標や取組内容、役割について、発表してもらいました。



次回

第4回 これから目指すまちの姿の実現に向けて！

【2地域合同開催】

日時：1月25日（土）17：00～（3時間程度） 場所：高陽公民館 ホール
（予備日（荒天の場合））

日時：2月1日（土）17：00～（3時間程度） 場所：高陽公民館 ホール

令和6年 12月
No.03

広島市地域活性化推進課
Tel:082-504-2837
Fax:082-504-2029

高陽地域・白木地域 活性化プラン作成検討 ワークショップ ニュース



高陽・白木地域の地域ごとのビジョンや取組について考える 第3回ワークショップを開催しました！！

高陽・白木地域の『活性化プラン』の作成に向け、両地域のお住まいの方に参加いただき、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」などをテーマとして、全4回（両地域合同開催、地域別開催含む）のワークショップを行っています。第1回目では、両地域の方向性について検討し、第2回目では「未来の地域の姿を絵描きするための取組・アイデア検討①」をテーマに各地域の将来像と実現に向けて取り組むたいことを検討していただきました。

第3回目は、11月24日に高陽地域、11月30日に白木地域で開催しました。計31名（高陽地域：18名、白木地域：13名）が参加し、「未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討②」をテーマに、将来像の実現に向けて取り組むたいことを話し合い、地域内で共有しました。

ワークショップの予定

7月	
第1回（2地域 合同開催） 両地域の「これまで」と「未来」について語る！	～当日のプログラム～
第2回（地域別開催） 未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討①	1. 開会・あいさつ 2. 事業の説明 3. 前回の振り返り 4. 活性化プランについて 5. ワークショップ ・方法説明 ・プロジェクトシートの作成 ・両地域で連携できそうな取組の整理 ・地域内のプロジェクトの共有、連携できそうな取組の整理 ・まとめ ・発表
第3回（地域別開催） 未来の地域の姿を実現するための取組・アイデア検討②	6. 閉会
第4回（2地域 合同開催） これから目指すまちの姿の実現に向けて！	
活性化プランのとりまとめ	

プロジェクトごとに「将来像の実現に向けた取組」について話し合い、地域内で共有しました！

プロジェクトシート作成・取組の整理

第2回目のWSで考えた「プロジェクトの方向性、取組内容」をより実現化するために、プロジェクトシートを作成しました。

高陽地域は3チーム、白木地域は4チームに分かれ、プロジェクトの目標やターゲット、取組のスケジュール、チーム内の役割を考えました。また、高陽地域、白木地域の両地域で連携できそうなことや地域内で連携できそうなこと、プロジェクトを進めていく上で協力してほしい人を整理し、地域内でプロジェクトの内容を共有しました。

地域内の他のチームと一緒にできそうなことを意見交換

チームで考えたことの共有

★ 両地域で連携できそうなこと
□ 地域内で連携できそうなこと
※ 吹き出しは発表時のご意見

高陽地域のプロジェクト

プロジェクト名 ターゲット	取組スケジュール	役割	協力してほしい人
みんなでお楽しみ会 （ターゲット） ・地域住民	短期（1～3年） - 住居意識のアンケートをとる - 各JR駅までのバス 中期（4～6年） - 利用者の少ない時間帯のダイヤの改正 - 駅周辺の整備 - 駅周辺の整備 長期（7～10年） - パークアンド・ライド - 駅周辺の整備	・交渉	・地方自治体 ・国 ・JR 西日本 ・政治家
高陽白木地域 ・高陽白木地域 ・高陽白木地域	短期（1～3年） - 地域の意識を高め、再開発に向けて動いていく。 中期（4～6年） - 高陽白木地域の意識を高め、再開発に向けて動いていく。 長期（7～10年） - 高陽白木地域の意識を高め、再開発に向けて動いていく。	・再開発 ・体育館移転 ・書類フォロー	・行政

プロジェクト名 ターゲット	取組スケジュール	役割	協力してほしい人
Koto Big Fest （ターゲット） ・全世代 ・若男女 ・近隣 ・他地域から	短期（1～3年） - 地域の意識を高め、再開発に向けて動いていく。 中期（4～6年） - 高陽白木地域の意識を高め、再開発に向けて動いていく。 長期（7～10年） - 高陽白木地域の意識を高め、再開発に向けて動いていく。	・学校へ声かけ ・地域をつなぐ ・司会 ・広告作り ・SNS発信	・著名人

プロジェクト名 ターゲット	取組スケジュール	役割	協力してほしい人
森道「まぎ」 （ターゲット） ・観光客 ・車いす ・車いす ・シニア	短期（1～3年） - 駅舎を利用（カフェ等） - 電子決済ができるようにする（今は、マイナカード） - ICOCAが使えるようにする - 駅周辺のロープレットマップを作る - 登山道の整備 中期（4～6年） - 列車モデルの設置（休憩、宿泊） - ホテル列車・雲海列車を走らせる - 定期列車が走るようになる 長期（7～10年） - ぼたの列車や雲海列車を走らせ、芸術館に集ってもらう。	・臨時列車を走らせる	・JR ・市議会議員 ・白木産業 ・高陽地区の皆さん
白木自然発見 （ターゲット） ・全世代	短期（1～3年） - 登山道の整備 - 登山道の整備 - 登山道の整備 中期（4～6年） - 登山道の整備 - 登山道の整備 - 登山道の整備 長期（7～10年） - 登山道の整備 - 登山道の整備 - 登山道の整備	・環境管理 ・山の案内 ・広報	・登山団体 ・観光課 ・農林水産課 ・白木町広域課
白木町広域課 （ターゲット） ・子ども	短期（1～3年） - 地域の意識を高め、再開発に向けて動いていく。 中期（4～6年） - 高陽白木地域の意識を高め、再開発に向けて動いていく。 長期（7～10年） - 高陽白木地域の意識を高め、再開発に向けて動いていく。	・情報をつなぐ ・まとめる	・各地域の団体 ・動画制作の皆さん ・インフルエンサー

(4) 第4回ワークショップニュース

来年度以降に向けて！

各プロジェクトチームで来年度実施すること、取組の目標、連携することについて、発表いただきました。

高陽地域

KoYo BIG Fes

アンケートで、芸術鑑賞の活用状況や頻度を把握していききたい。
狩猟家なす等の収穫体験のイベントを実施し、PR、発信につなげていきたい。
高陽線まつり、お店を出し、高陽地域・白木地域活性化プランを宣伝しようと考えている。
各チームの活動報告や展示する場につなげていきたい。

白木地域

登山ルートの見学ツアーを実施し、仲間を募りたい。

雲備線 110周年と合わせ、志和口駅の周辺でもイベント等を実施していきたい。

雲備線「X」

運営するチームメンバーを募集し、白木町全体の宣伝活動をする。夏までには、発信できる体制をつくりたい。

2か月に1回集まる場を開き、どんな人を増やして、夢や資源について語っていききたい。

深川地区の活性化プロジェクト

体育館の建替えや下深川駅の再開が実現した時に、どのようにより活用して活性化させていくかを考えていく。

プロジェクトチームの連携

みなで使おう雲備線!!〜もっと便利な雲備線にしよう〜

- ネコ駅長を見に全国から人が来ているが、見て終わりに終わっている。古民家を活用したカフェの検討や、狩猟家ナスやいちごなどの収穫体験を合わせてPRしていきたい。
- 他の地域から、雲備線を使って、高陽町、白木町を楽しんでもらえるようなことやPRの方法を連携しながら考え、活性化に向けて動いていきたい。

KoYo BIG Fes X 白木自然発見

- 7月の高陽線まつりでも白木自然発見チームに協力してもらい、木材の加工や椎茸の原木の販売なども取り入れてPRしていく。
- みなさんの一年間の活動報告の場所としていきたいので、できたことや各地域のイベントで実施したことなどを高陽線まつりでも発表し、うまくいけば、白木町のまつりでも何かできればと考えている。

深川地区の活性化プロジェクト X 雲備線 X 白木町広報課

- 今日で終わりにしないことが重要。「いい会だっだね」「たくさん夢を語ったね」という思いだけで満足して終わらない。来年度も継続して白木町、高陽町を動かしていき、エネルギーにする。
- 白木町広報課チームの発信するための情報を集める場として、雲備線 X 白木町広報課チームを活用し、高陽地域でスポーツ等の共同イベントを行うときには、白木町広報課チームの情報発信ルートを活用したい。

今後

令和7年4月以降も高陽地域・白木地域の活性化に向けて、事業・取組を展開していきます！

令和7年2月
No.04

広島市地域活性化推進課
Tel:082-504-2837
Fax:082-504-2029

高陽地域・白木地域 活性化プラン作成検討 ワークショップ ニュース



高陽・白木地域の地域ごとのビジョンや取組について考える 最終回のワークショップを開催しました！！

高陽・白木地域の『活性化プラン』の作成に向け、両地域のお住まいの方に参加いただき、「地域の将来像」や「将来像を実現するための取組」などをテーマとして、全4回（両地域合同開催、地域別開催含む）のワークショップを行いました。第1回目では、両地域の方向性について検討し、第2回目、第3回目では各地域の将来像と実現に向けて取り組むべきことを検討していただきました。

最終回となる第4回目を、1月25日に高陽地域・白木地域の2地域合同で開催しました。計30名（高陽地域：20名 白木地域：10名）が参加し、「これから目指すまちの姿の実現に向けて」をテーマに、次年度実施する取組の磨き上げや連携して実施したい取組を対話いただき、全体で共有しました。

ワークショップの予定

7月 第1回（2地域 合同開催）
両地域の“これまで”と“未来”について語る！

9月 第2回（地域別開催）
未来の地域の姿を実現するための
取組・アイデア検討①

11月 第3回（地域別開催）
未来の地域の姿を実現するための
取組・アイデア検討②

1月 第4回（2地域 合同開催）
これから目指すまちの姿の実現に向けて！

活性化プランのとりまとめ

～当日のプログラム～

1. 開会・あいさつ
2. 事業の説明
3. 前回の振り返り
4. 活性化プランについて
5. ワークショップ
 - ・自己紹介
 - ・ワーク① 活性化プランについて
 - ・ワーク② ロードマップの作成
 - ・ワーク③ 地域外との連携について
 - ・まとめ
 - ・発表
6. 閉会

プロジェクトごとに「来年度実施する取組」や「他のチームと連携したい取組」について話し合い、共有しました！

ロードマップ（次年度に取り組みたいこと）の作成・整理

前回（第3回目）のワーキングセッションでは短期・中期・長期に分けてプロジェクトの取組スケジュールを作成いただきました。それをもとに、第4回目では、来年度から地域の実現に向けて各プロジェクトチームで活動していくために、ロードマップ（スケジュール）を作成し、「いつ」「誰が」「何をやるのか」などを整理しました。また、地域を超えて連携したいプロジェクトチーム同士が対話し、連携できそうな取組を考えました。

地域	プロジェクト名	取組	令和7(2025)年					令和8(2026)年				
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
高陽地域	みんなで作ろう 芸備線！ ～もっと便利な芸 備線にしよう～	芸備線活性化 (芸備線利用 に関する)	アンケート (芸備線利用 に関する)	芸備線活性化 (芸備線利用 に関する)	芸備線活性化 (芸備線利用 に関する)	芸備線活性化 (芸備線利用 に関する)	芸備線活性化 (芸備線利用 に関する)	芸備線活性化 (芸備線利用 に関する)	芸備線活性化 (芸備線利用 に関する)	芸備線活性化 (芸備線利用 に関する)	芸備線活性化 (芸備線利用 に関する)	芸備線活性化 (芸備線利用 に関する)
		各種イベントの PR	高陽・白木の 特産品 PR	高陽・白木の 特産品 PR	高陽・白木の 特産品 PR	高陽・白木の 特産品 PR	高陽・白木の 特産品 PR	高陽・白木の 特産品 PR	高陽・白木の 特産品 PR	高陽・白木の 特産品 PR	高陽・白木の 特産品 PR	高陽・白木の 特産品 PR
白木地域	鉄道 「X」	芸備線 IIO 周年イベント	芸備線 IIO 周 年記念イベント	芸備線 IIO 周 年記念イベント	芸備線 IIO 周 年記念イベント	芸備線 IIO 周 年記念イベント	芸備線 IIO 周 年記念イベント	芸備線 IIO 周 年記念イベント	芸備線 IIO 周 年記念イベント	芸備線 IIO 周 年記念イベント	芸備線 IIO 周 年記念イベント	芸備線 IIO 周 年記念イベント
		ホテル祭り 雲海列車 ネコ写真展 駅周辺リーフ レットマップ ネコ観光大使	ホテル祭り 雲海列車 ネコ写真展 駅周辺リーフ レットマップ ネコ観光大使	ホテル祭り 雲海列車 ネコ写真展 駅周辺リーフ レットマップ ネコ観光大使	ホテル祭り 雲海列車 ネコ写真展 駅周辺リーフ レットマップ ネコ観光大使	ホテル祭り 雲海列車 ネコ写真展 駅周辺リーフ レットマップ ネコ観光大使	ホテル祭り 雲海列車 ネコ写真展 駅周辺リーフ レットマップ ネコ観光大使	ホテル祭り 雲海列車 ネコ写真展 駅周辺リーフ レットマップ ネコ観光大使	ホテル祭り 雲海列車 ネコ写真展 駅周辺リーフ レットマップ ネコ観光大使	ホテル祭り 雲海列車 ネコ写真展 駅周辺リーフ レットマップ ネコ観光大使	ホテル祭り 雲海列車 ネコ写真展 駅周辺リーフ レットマップ ネコ観光大使	ホテル祭り 雲海列車 ネコ写真展 駅周辺リーフ レットマップ ネコ観光大使
高陽地域	KoYo BIG Fes	高陽絆まつり	高陽絆まつり	高陽絆まつり	高陽絆まつり	高陽絆まつり	高陽絆まつり	高陽絆まつり	高陽絆まつり	高陽絆まつり	高陽絆まつり	高陽絆まつり
		山の確認 登山道の整備 協力店を募る	山の確認 登山道の整備 協力店を募る	山の確認 登山道の整備 協力店を募る	山の確認 登山道の整備 協力店を募る	山の確認 登山道の整備 協力店を募る	山の確認 登山道の整備 協力店を募る	山の確認 登山道の整備 協力店を募る	山の確認 登山道の整備 協力店を募る	山の確認 登山道の整備 協力店を募る	山の確認 登山道の整備 協力店を募る	山の確認 登山道の整備 協力店を募る
白木地域	白木自然発見	登山道の整備 プロジェクト の発足	登山道の整備 プロジェクト の発足	登山道の整備 プロジェクト の発足	登山道の整備 プロジェクト の発足	登山道の整備 プロジェクト の発足	登山道の整備 プロジェクト の発足	登山道の整備 プロジェクト の発足	登山道の整備 プロジェクト の発足	登山道の整備 プロジェクト の発足	登山道の整備 プロジェクト の発足	登山道の整備 プロジェクト の発足
		登山道のルート 下見、見学サー の発足	登山道のルート 下見、見学サー の発足	登山道のルート 下見、見学サー の発足	登山道のルート 下見、見学サー の発足	登山道のルート 下見、見学サー の発足	登山道のルート 下見、見学サー の発足	登山道のルート 下見、見学サー の発足	登山道のルート 下見、見学サー の発足	登山道のルート 下見、見学サー の発足	登山道のルート 下見、見学サー の発足	登山道のルート 下見、見学サー の発足
高陽地域	深川地区の活性 化プロジェクト	高陽体育館 移転 定期開催	高陽体育館 移転 定期開催	高陽体育館 移転 定期開催	高陽体育館 移転 定期開催	高陽体育館 移転 定期開催	高陽体育館 移転 定期開催	高陽体育館 移転 定期開催	高陽体育館 移転 定期開催	高陽体育館 移転 定期開催	高陽体育館 移転 定期開催	高陽体育館 移転 定期開催
		地区の宣伝 活動	地区の宣伝 活動	地区の宣伝 活動	地区の宣伝 活動	地区の宣伝 活動	地区の宣伝 活動	地区の宣伝 活動	地区の宣伝 活動	地区の宣伝 活動	地区の宣伝 活動	地区の宣伝 活動
白木地域	白木町広報課	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集
		チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集	チームメンバー の募集



高陽地域・白木地域活性化プラン

2025 年 3 月

編 集：高陽地域・白木地域活性化プラン作成検討ワークショップ

高陽地域・白木地域活性化プラン